様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	京都縦貫自動車道の早期完成									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

京都縦貫自動車道全線の早期完成を関係機関に要請します。
平成26年度における京都縦貫自動車道（宮津天橋立～久御山）約100ｋｍの全線完成（一部片側１車線）を目指し、事業が進められている。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・沓掛IC～大山崎JCT（京都第二外環状道路）L=8.9km整備中 ・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中	・沓掛IC～大山崎JCT（京都第二外環状道路）L=8.9km整備中 ・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中	京都縦貫自動車道に関する事務経費 186,085円
平成24年度	・沓掛IC～大山崎JCT（京都第二外環状道路）L=8.9km完成 ・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中	・沓掛IC～大山崎JCT（京都第二外環状道路）L=8.9km完成 ・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中	京都縦貫自動車道に関する事務経費 215,708円
平成25年度	・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中	・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中	京都縦貫自動車道に関する事務経費 42,988円
平成26年度	・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km完成	・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備中 （平成27年7月18日開通予定）	京都縦貫自動車道に関する事務経費 43,048円
平成27年度	・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km完成	・京丹波わちIC～丹波IC L=18.9km整備完成 （平成27年7月18日開通）	京都縦貫自動車道に関する事務経費 83,660円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

○全体区間　　宮津天橋立～久御山　Ｌ＝100km
○整備済区間　Ｌ＝81.1km
○未整備区間　Ｌ＝18.9km（京丹波わちIC～丹波IC）平成27年7月18日開通

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○平成２７年７月１８日に、未整備区間18.9km(京丹波わちＩＣ～丹波ＩＣ)が完成し供用開始となった。
○京都府の北部地域と南部地域を結ぶ全長約100kmの高規格幹線道路の完成により、更なる地域連携の強化が図られ京都府域全体の発展が期待される。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○瑞穂トンネル工事の難航により開通が約半年遅れた。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○京都府の北部地域と南部地域を結ぶ全長約100kmの高規格幹線道路の完成により、企業立地の進展・民間需要の拡大・地域経済の活性化が期待され、又、更なる地域連携の強化が図られることにより京都府域全体の発展に寄与することが望まれる。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	国・府道の整備促進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○国・府道の整備促進
歩道の整備や交通渋滞緩和に向けた交差点改良など、国道９号の整備を促進します。また、阪神地域とのネットワーク強化に向け、国道３７２号、４２３号、４７７号各国道の整備を促進します。さらに、市内の骨格を形成し、周辺・広域との連携を高める主要地方道、一般府道の整備を促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・京都府国道連絡会、国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会及び府道の整備促進関係団体から関係機関へ要望	・京都府国道連絡会から近畿地方整備局へ要望 ・国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会から京都府へ要望 ・府道の整備促進関係団体から京都府へ要望	312,987円
平成24年度	・京都府国道連絡会、国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会及び府道の整備促進関係団体から関係機関へ要望 ・府道亀岡園部線(保津北工区)完成	・京都府国道連絡会から近畿地方整備局へ要望 ・国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会から京都府へ要望 ・府道の整備促進関係団体から京都府へ要望 ・府道亀岡園部線(保津北工区)→平成25年度完成	411,490円
平成25年度	・京都府国道連絡会、国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会及び府道の整備促進関係団体から関係機関へ要望 ・国道３７２号(湯ノ花工区)完成	・京都府国道連絡会から近畿地方整備局へ要望 ・国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会から京都府へ要望 ・府道の整備促進関係団体から京都府へ要望 ・国道９号若宮橋架け替えについて、京都国道事務所へ要望 ・府道亀岡園部線(保津北工区)完成 ・国道３７２号(湯ノ花工区)→平成２６年度完成	547,826円
平成26年度	・京都府国道連絡会、国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会及び府道の整備促進関係団体から関係機関へ要望 ・府道亀岡園部線(保津南工区)完成	・京都府国道連絡会から近畿地方整備局へ要望 ・国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会から京都府へ要望 ・府道の整備促進関係団体から京都府へ要望 ・国道９号若宮橋架け替えについて、京都国道事務所へ要望 ・府道亀岡園部線(保津南工区)完成 ・国道３７２号(湯ノ花工区)本線完成	391,740円
平成27年度	・京都府国道連絡会、国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会及び府道の整備促進関係団体から関係機関へ要望	・京都府国道連絡会から近畿地方整備局へ要望 ・国道372号、国道423号、国道477号整備促進協議会から京都府へ要望 ・府道の整備促進関係団体から京都府へ要望 ・国道９号若宮橋架け替えについて、京都国道事務所へ要望 ・府道亀岡園部線(保津南工区)完成 ・国道３７３号(湯ノ花工区)本線完成	270,650円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

○各路線毎に整備促進が図られている。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○国道９号整備（篠横断歩道橋整備事業化、若宮橋架替事業化）
○国道372号（一部区間（柿花工区）を残し整備完成）
○国道423号（法貴バイパス事業化）
○国道477号（道路改良（歩道設置）事業化）
○府道亀岡園部線北伸・南伸の完成
○府道郷ノ口余部線　宇津根橋架替事業化　ほか

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○府道亀岡園部線南々伸工区については、事業化に向け事業手法等の課題を抱えている。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○平成28年度以降についても国・府道の整備促進について、地元で組織される団体や他市町村とで組織する団体等と連携し要望活動を促進する。
○各事業の計画的な促進がされるよう、予算確保についての要望を展開する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域高規格道路の実現化									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○地域高規格道路の実現化
阪神地域と南丹地域を結ぶ京都中部阪神連絡道路の計画決定と事業化に向けた取組を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・近畿市長会から国道423号の整備促進について、関係機関へ要望 ・京都中部阪神連絡道路を候補路線から計画路線への格上げを要請	・国道４２３号整備促進並びに地域高規格道路「京都中部阪神連絡道路」を候補路線から計画路線への早期格上げを近畿市長会へ要望	0円
平成24年度	・近畿市長会から国道423号の整備促進について、関係機関へ要望 ・京都中部阪神連絡道路を候補路線から計画路線への格上げを要請	・国道４２３号整備促進並びに地域高規格道路「京都中部阪神連絡道路」を候補路線から計画路線への早期格上げを近畿市長会へ要望	0円
平成25年度	・近畿市長会から国道423号の整備促進について、関係機関へ要望 ・京都中部阪神連絡道路を候補路線から計画路線への格上げを要請	・国道４２３号整備促進並びに地域高規格道路「京都中部阪神連絡道路」を候補路線から計画路線への早期格上げを近畿市長会へ要望 ・国道４２３号法貴バイパスについては、平成25年3月に事業着手	1,006,950円
平成26年度	・京都中部阪神連絡道路を候補路線から計画路線への格上げを要請	・国道４２３号整備促進並びに地域高規格道路「京都中部阪神連絡道路」を候補路線から計画路線への早期格上げを近畿市長会へ要望	0円
平成27年度	・京都中部阪神連絡道路を候補路線から計画路線への格上げを要請	・国道４２３号整備促進並びに地域高規格道路「京都中部阪神連絡道路」を候補路線から計画路線への早期格上げを近畿市長会へ要望	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

国道423号の整備促進並びに京都中部阪神連絡道路の計画路線への格上げ要望を行っている。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○国道４２３号法貴バイパスについて平成25年3月に事業着手。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○特になし

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○国道４２３号法貴バイパスの早期完成に向け要望活動に取り組む。
○京都中部阪神連絡道路を候補路線から計画路線への格上げを要請。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	主要生活道路の整備									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

集落間を連絡する主要な道路の改良など、道路網の整備を推進します。

※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

・市道北古世西川線　事業期間：平成19年度～平成28年度　事業延長L=1,500m(　851m)　幅員11.00m
・市道池尻宇津根線　事業期間：平成22年度～平成28年度　事業延長L=3,150m(1,726m)　幅員10.75m
・市道中矢田篠線(篠工区)　事業期間：平成19年度～平成26年度　事業延長L=　850m(　302m)　幅員12.00m
・市道犬甘野神地線　事業期間：平成17年度～平成24年度　事業延長L=1,400m(　726m)　幅員 6.50m
・市道並河３丁目３号線　事業期間：平成22年度～平成23年度　事業延長L=　220m(　130m)　幅員 9.00m
総事業延長L=7,120m(3,735m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・用地買収 ・建物等補償 ・橋梁工事 ・築造工事 （整備延長L=1,816m、整備率41.9%）	・用地買収 ・建物等補償 ・橋梁工事 ・築造工事 （整備延長L=1,605m、整備率43.0%）	用地買収等に関する経費及び工事費 974,367,959円
平成24年度	・用地買収 ・建物等補償 ・橋梁工事 ・築造工事 （整備延長L=1,064m、整備率66.4%）	・用地買収 ・建物等補償 ・橋梁工事 ・築造工事 （整備延長L=646m、整備率60.3%）	用地買収等に関する経費及び工事費 493,855,000円
平成25年度	・業務委託 ・用地買収 ・築造工事 （整備延長L=794m、整備率84.8%）	・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=541m、整備率74.8%）	用地買収等に関する経費及び工事費 370,815,000円
平成26年度	・用地買収 ・築造工事 （整備延長L=192m、整備率89.2%）	・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=476m、整備率87.5%）	用地買収等に関する経費及び工事費 367,487,946円
平成27年度	・用地買収 ・築造工事 （整備延長L=469m、整備率100.0%）	・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=467m、整備率100.0%）	用地買収等に関する経費及び工事費 300,212,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長／期間内の事業延長の割合から整備率を算定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、市道並河３丁目３号線、市道中矢田篠線（篠工区）、の２路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

対象５路線の内２路線の築造工事を完了しましたが、残る３路線の内２路線の用地交渉が難航している点が課題となっています。任意交渉と併行して筆界特定申請及び事業認定申請手続きを進めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、早期に事業完了ができるように業務に取り組んでいくと共に、地元要望等を含め新たな路線の計画についても検討を行います。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	狭小道路等の整備									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

道路幅員が狭小で緊急車両の通行並びに生活車両の離合が困難な路線について、道路拡幅等を実施し、生活に密着した狭小道路の改良を進めるものです。　※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

・市道南掛栢原線　事業期間：平成26年度～平成28年度　事業延長L=　520m(　299m)　幅員　5.00m
・市道湯谷区道線　事業期間：平成26年度～平成28年度　事業延長L=　440m(　295m)　幅員　5.00m
・保津外環状線　事業期間：平成23年度～平成27年度　事業延長L=　360m(　74m)　幅員　5.00m
・市道美濃田平野線外１線　事業期間：平成26年度～平成30年度　事業延長L=　420m(　64m)　幅員　5.00m
・市道つつじヶ丘６号線外１線　事業期間：平成26年度　事業延長L=　210m(　210m)　幅員　6.00m
・他８路線　事業期間：平成20年度～平成25年度　事業延長L=1,194m(1,037m)　幅員　4.00m～10.50m
総事業延長L=3,144m(1,979m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・業務委託 ・用地買収 ・築造工事 （整備延長L=470m、整備率33.6%）	・業務委託 ・用地買収 ・築造工事 （整備延長L=459m、整備率23.2%）	用地買収等に関する経費及び工事費 89,227,152円
平成24年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=387m、整備率61.3%）	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=251m、整備率35.9%）	用地買収等に関する経費及び工事費 97,966,000円
平成25年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=303m、整備率83.0%）	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=314m、整備率51.7%）	用地買収等に関する経費及び工事費 139,604,000円
平成26年度	・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=152m、整備率93.9%）	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=430m、整備率73.5%）	用地買収等に関する経費及び工事費 148,183,000円
平成27年度	・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=85m、整備率100.0%）	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=525m、整備率100.0%）	用地買収等に関する経費及び工事費 145,714,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長／期間内の事業延長の割合から整備率を算定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、市道太歳線、市道つつじヶ丘６号線外１線、市道千原拝田線、市道つつじヶ丘９号線、市道山本学校線、市道高野林１号線、市道西嶋線、市道佐伯鉱山線の８路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

対象１３路線の内９路線の築造工事を完了しましたが、残る４路線の予算確保が課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、早期に事業完了ができるように業務に取り組んでいくと共に、地元要望等を含め新たな路線の計画についても検討を行います。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	土木管理課	係	管理係
担当者		伴田　凌	直通	25-5043	内線	3433

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	認定外道路整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

自治会等が管理する道路（道路法第３条に規定する道路以外）について、生活環境の整備を促進し、地域の自治振興と住民の福祉増進を図るため、予算の範囲内で当該事業費の２分の１以内の補助金を交付する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	１６件	１６件（７町自治会）	12,608,000円
平成24年度	１６件	１１件（６町自治会）	62,078,100円
平成25年度	１６件	７件（７町自治会）	69,001,432円
平成26年度	１６件	８件（６町自治会）	9,629,010円
平成27年度	１６件	５件（５町自治会）	10,070,767円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成２７年度の目標を１００％として設定しているため、平成２７年度までの完了は１００％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標件数については、目標に対して実績が30％～100％となりましたが、自治会等が管理する道路について、生活環境の整備を促進することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

側溝等の整備工事については、舗装工事に伴って必要なものしか対象とならず、側溝等整備工事のみの事業に対しての補助金の交付が望まれています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、自治会が管理する道路の整備を促進し、地域の自治振興と住民の福祉増進を図るため、補助金を交付することとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域の特性に配慮した道路整備									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域の活性化やコミュニティ振興を支援するため、周辺の景観に配慮した道路整備や市民と一体となった道路緑化を推進します。　※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

・市道中矢田篠線（篠工区）　事業期間：平成19年度～平成26年度　事業延長L=　850m(302m)　幅員12.00m
・街路事業中矢田篠線（上矢田工区）　事業期間：平成19年度～平成26年度　事業延長L=　220m(220m)　幅員12.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）　事業期間：平成10年度～平成23年度　事業延長L=　320m(320m)　幅員20.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第２工区）　事業期間：平成23年度～平成31年度　事業延長L=　422m(　70m)　幅員20.00m
総事業延長L=1,814m(912m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=184m、整備率36.4%）	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=563m、整備率61.7%）	道路・街路事業にて計上 316,619,388円
平成24年度	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=135m、整備率63.0%）	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=60m、整備率68.3%）	道路・街路事業にて計上 107,769,000円
平成25年度	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=48m、整備率72.5%）	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=90m、整備率78.2%）	道路・街路事業にて計上 138,316,000円
平成26年度	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=71m、整備率86.6%）	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=97m、整備率88.8%）	道路・街路事業にて計上 158,465,880円
平成27年度	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=68m、整備率100.0%）	道路・街路事業による道路緑化等の推進（整備延長L=102m、整備率100.0%）	道路・街路事業にて計上 199,696,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長／期間内の事業延長の割合から整備率を算定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、市道中矢田篠線（篠工区）、街路事業中矢田篠線（上矢田工区）、街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）の３路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

対象４路線の内３路線の築造工事を完了しましたが、残る１路線の予算確保が課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、早期に事業完了ができるように業務に取り組んでいくと共に、地元要望等を含め新たな路線の計画についても検討を行います。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	41
②事業名	街路事業の計画的な取組									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

京都縦貫道へのアクセス強化及び都市の骨格を形成する基幹的な都市計画街路として整備を進めており、未改良区間の整備を行うことで、都市計画街路網の形成が図れ、円滑な交通処理及び歩行者の通行の安全を確保します。

※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

・街路事業中矢田篠線(上矢田工区)　事業期間：平成19年度～平成26年度　事業延長L= 220m(220m)　幅員12.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）　事業期間：平成10年度～平成23年度　事業延長L= 320m(320m)　幅員20.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第２工区）　事業期間：平成23年度～平成31年度　事業延長L= 422m(　70m)　幅員20.00m
　他11路線

総事業延長L=18,290m(9,167m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=9,024m、整備率49.3%）	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=9,023m、整備率49.3%）	用地買収等に関する経費及び工事費 186,812,000円
平成24年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=49m、整備率49.6%）	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=48m、整備率49.6%）	用地買収等に関する経費及び工事費 91,023,000円
平成25年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=23m、整備率49.7%）	・業務委託 ・築造工事 （整備延長L=23m、整備率49.7%）	用地買収等に関する経費及び工事費 48,416,000円
平成26年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=29m、整備率49.9%）	・業務委託 ・築造工事 （整備延長L=24m、整備率49.9%）	用地買収等に関する経費及び工事費 61,052,000円
平成27年度	・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 （整備延長L=43m、整備率50.0%）	・業務委託 ・築造工事 （整備延長L=49m、整備率50.0%）	用地買収等に関する経費及び工事費 127,867,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長(平成23年度は過年度実績延長含む)＋平成21年度目標設定時の実績事業延長(L=8,507m)／全13路線の総事業延長(L=18,290m)の割合から整備率を算定した。
進捗率　9,167m（整備延長）÷9,168m（期間内総事業延長）＝99.9%

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、街路事業中矢田篠線（森工区）、街路事業中矢田篠線（上矢田工区）、街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）の３路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

区画整理事業と連携した計画的な事業進捗が課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、区画整理等の事業と連携を深めながら、早期に事業完了ができるよう業務に取り組むこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	歩行者自転車道の整備促進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

交通安全対策を重視し、主要道路における歩行者自転車道の整備や交差点の改良を促進します。

※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

・市道保津宇津根並河線	事業期間：平成24年度～平成28年度	事業延長L=1,600m(　180m)	幅員10.75m
・市道北古世西川線	事業期間：平成19年度～平成26年度	事業延長L=1,500m(　851m)	幅員11.00m
・市道池尻宇津根線	事業期間：平成22年度～平成28年度	事業延長L=3,150m(1,726m)	幅員10.75m
・市道河原尻千歳線	事業期間：平成25年度～平成26年度	事業延長L=　145m(　145m)	幅員 8.00m
・市道才ノ溝下垣内１号線	事業期間：平成26年度	事業延長L=　60m(　60m)	幅員16.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）	事業期間：平成10年度～平成23年度	事業延長L=　320m(　320m)	幅員20.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第２工区）	事業期間：平成23年度～平成31年度	事業延長L=　422m(　70m)	幅員20.00m

総事業延長L=7,197m(3,352m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=849m、整備率25.9%）	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=1,016m、整備率30.3%）	道路・街路事業にて計上 639,284,571円
平成24年度	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=851m、整備率51.9%）	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=642m、整備率49.5%）	道路・街路事業にて計上 487,845,000円
平成25年度	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=808m、整備率76.5%）	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=630m、整備率68.3%）	道路・街路事業にて計上 408,931,000円
平成26年度	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=233m、整備率83.6%）	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=530m、整備率84.1%）	道路・街路事業にて計上 395,502,054円
平成27年度	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=537m、整備率100.0%）	道路・街路事業による歩行者自転車道の整備 （整備延長L=534m、整備率100.0%）	道路・街路事業にて計上 435,513,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長／期間内の事業延長の割合から整備率を算定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、市道河原尻千歳線、市道才ノ溝下垣内１号線、街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）の３路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

対象７路線の内３路線の築造工事を完了しましたが、残る４路線の内２路線の用地交渉が難航している点及び予算確保が課題となっています。任意交渉と併行して事業認定申請手続きを進めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、早期に事業完了ができるように業務に取り組んでいくと共に、地元要望等を含め新たな路線の計画についても検討を行います。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	4	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	歩道の整備とバリアフリー化									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

道路の移動円滑化整備ガイドラインに基づき、高齢者や障害者など誰もが歩きやすい歩道整備を推進します。

※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

・市道保津宇津根並河線	事業期間：平成24年度～平成28年度	事業延長L=1,600m(　180m)	幅員10.75m
・市道北古世西川線	事業期間：平成19年度～平成26年度	事業延長L=1,500m(　815m)	幅員11.00m
・市道池尻宇津根線	事業期間：平成22年度～平成28年度	事業延長L=3,150m(1,726m)	幅員10.75m
・市道柏原森線	事業期間：平成25年度～平成26年度	事業延長L=　110m(　110m)	幅員 1.50m（歩道）
・市道湯ノ花温泉線	事業期間：平成25年度～平成29年度	事業延長L=　650m(　179m)	幅員 2.50m（歩道）
・市道中矢田篠線（篠工区）	事業期間：平成19年度～平成26年度	事業延長L=　850m(　302m)	幅員12.00m
・街路事業中矢田篠線（上矢田工区）	事業期間：平成19年度～平成26年度	事業延長L=　220m(　220m)	幅員20.00m
・街路事業馬堀停車場篠線（第２工区）	事業期間：平成23年度～平成31年度	事業延長L=　422m(　70m)	幅員20.00m
・他３路線	事業期間：平成19年度～平成24年度	事業延長L=　665m(　575m)	幅員 9.00m～20.00m

総事業延長L=9,167m(4,213m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=1,138m、整備率29.2%）	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=1,388m、整備率32.9%）	道路・街路事業にて計上 972,679,959円
平成24年度	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=1,111m、整備率57.8%）	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=729m、整備率50.2%）	道路・街路事業にて計上 601,725,500円
平成25年度	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=842m、整備率79.4%）	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=782m、整備率68.8%）	道路・街路事業にて計上 541,812,000円
平成26年度	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=263m、整備率86.2%）	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=536m、整備率81.5%）	道路・街路事業にて計上 479,594,934円
平成27年度	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=537m、整備率100.0%）	道路・街路事業による バリアフリーの歩道整備 （整備延長L=778m、整備率100.0%）	道路・街路事業にて計上 582,313,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長／期間内の事業延長の割合から整備率を算定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、市道柏原森線、市道中矢田篠線（篠工区）、市道並河３丁目３号線、街路事業中矢田篠線（上矢田工区）、街路事業馬堀停車場篠線（第１工区）、市道つつじヶ丘９号線の６路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

対象１１路線の内６路線の築造工事を完了しましたが、残る５路線の内２路線の用地交渉が難航している点及び予算確保が課題となっています。任意交渉と併行して事業認定申請手続きを進めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、早期に事業完了ができるように業務に取り組んでいくと共に、地元要望等を含め新たな路線の計画についても検討を行います。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	土木管理課	係	道路維持係
担当者		塩見　成晃	直通	２５－５０４４	内線	3374

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	5	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	道路舗装改良事業、道路維持修繕事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

道路の老朽化等が進むなか、事故を未然に防ぐため、計画的な予防保全によって費用対効果の高い道理の維持管理を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	道路パトロールや計画的な道路舗装改良、道路維持修繕の実施	道路パトロール24回 道路舗装改良工事３件 道路維持修繕工事205件 道路維持委託　６１件	142,405,550円
平成24年度	道路パトロールや計画的な道路舗装改良、道路維持修繕の実施	道路パトロール　30回 道路舗装改良工事　３件 道路維持修繕工事　130件 道路維持委託　56件	159,346,000円
平成25年度	道路パトロールや計画的な道路舗装改良、道路維持修繕の実施	道路パトロール　72回 道路舗装改良工事　6件 道路維持修繕工事　107件 道路維持委託　59件	232,334,661円
平成26年度	道路パトロールや計画的な道路舗装改良、道路維持修繕の実施	道路パトロール　67回 道路舗装改良工事　3件 道路維持修繕工事　127件 道路維持委託　66件	202,564,003円
平成27年度	道路パトロールや計画的な道路舗装改良、道路維持修繕の実施	道路パトロール　153回 道路舗装改良工事　4件 道路維持修繕工事　158件 道路維持委託　69件	174,304,090円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標を100％としているため、平成27年度までの完了は100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

道路維持については当初の計画とおりおおむねの整備は進めることができ、道路管理も適正に図られた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

毎年地域から寄せられる事業要望がなされているが、その内容を取捨選択していく客観的な判断基準等が求められる。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

施設の更新履歴などの整備を行い、個々の条件にあった修繕事業ができるような対応を行っていくものとする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	土木管理課	係	道路維持係
担当者		南　勝章	直通	２５－５０４５	内線	3376

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	5	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	橋梁維持修繕事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市が管理する橋長２．０ｍ以上の橋梁は３８１橋で、架設後長期経過している橋梁が多くあり、定期的な点検により早期に損傷を発見し、計画的な修繕を行うことで安全・安心な道路環境の確立に努める。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	橋梁点検調査	橋梁点検調査	15,363,600円
平成24年度	橋梁長寿命化修繕計画策定	橋梁長寿命化修繕計画策定 （３８０橋）	19,932,150円
平成25年度	橋梁長寿命化修繕工事	橋梁長寿命化修繕工事 ○野条大橋橋梁補修工事 ○中北橋補修設計業務委託 ○保津小橋補修設計業務委託	13,595,400円
平成26年度	橋梁長寿命化修繕工事 ○中北橋橋梁補修工事 ○保津小橋橋梁補修工事 ○皐月橋橋梁補修工事	橋梁長寿命化修繕工事 ○中北橋橋梁補修工事 ○保津小橋橋梁補修工事 ○皐月橋橋梁補修工事	53,199,526円
平成27年度	橋梁長寿命化修繕工事 ○吉川橋橋梁補修設計業務委託・工事 ○皐月橋橋梁補修工事	橋梁長寿命化修繕工事 ○吉川橋橋梁補修設計業務委託・工事 ○皐月橋橋梁補修工事 ○重利橋橋梁補修設計業務委託	45,363,760円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標を100％としているため、平成27年度までの完了は100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成27年度末で4橋の修繕が完了し、平成28年度でさらに2橋修繕が完了する予定であり、計画とおりの修繕が実施できている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

財源が防災安全交付金に頼るところが大きく、事業の進捗が交付額に大小に委ねられるところが多い。また橋梁修繕については特殊な工事であり、職員の持つ技術の途切れを招かないようにする必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成27年度より開始された5年に1回の法定点検の結果により補修対象の橋梁が増加していくものと考えられるため、修繕の対象とする橋梁については点検結果も留意しながら、損傷度合、重要性を鑑みながら決定していくものとする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ＪＲ山陰本線関連経費(利便性の向上について)									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ＪＲ山陰本線（京都～園部間）の複線化が完了し、利便性が飛躍的に向上しましたが、更なる鉄道利用者の利便性向上のため、鉄道事業者へ要請します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	利便性向上に向けた検討・要望 市内駅乗降者数：38,000人	利便性向上に向けたダイヤ改正実施 市内駅乗降者数：38,036人	－
平成24年度	利便性向上に向けた検討・要望 市内駅乗降者数：38,000人	利便性向上に向けたダイヤ改正実施 市内駅乗降者数：38,388人	－
平成25年度	利便性向上に向けた検討・要望 市内駅乗降者数：38,000人	利便性向上に向けたダイヤ改正実施 市内駅乗降者数：38,948人	－
平成26年度	利便性向上に向けた検討・要望 市内駅乗降者数：38,000人	利便性向上に向けたダイヤ改正実施 市内駅乗降者数：38,182人	－
平成27年度	利便性向上に向けた検討・要望 市内駅乗降者数：38,000人	利便性向上に向けたダイヤ改正実施 市内駅乗降者数：38,522人	－

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

ＪＲのダイヤ改正等により、鉄道利用者の利便性の向上が図られました。
平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標利用者数である延べ190,000人に対して、平成27年度末での利用者数が延べ192,076人となりましたので、目標年度に対して100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった利用者数については、目標に対して実績が100％となり、鉄道事業者へ要請等をする中で、ＪＲのダイヤ改正等による鉄道利用者の利便性の向上に向けた取り組みを推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

更なる鉄道利用者の利便性向上のために、鉄道事業者へ要請活動の継続が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

馬堀駅への快速の停車や輸送本数の増加など、鉄道サービスの向上を事業者に要請活動を実施します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ＪＲ山陰本線関連経費(複線化等の促進について)									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域間交流の活性化、魅力あるまちづくりの推進のためには、京都中部地域においてより一層の輸送力の増強と利便性・高速化・快適性の向上が不可欠であるため、山陰本線京都中部複線化促進協議会を中心に園部駅以北の複線化と大阪方面への直接乗り入れ構想の実現に向けた働きかけを行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	154,850円
平成24年度	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	150,500円
平成25年度	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	156,057円
平成26年度	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	150,380円
平成27年度	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	山陰本線（園部駅以北）複線化要望活動	62,449円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

山陰本線京都中部複線化促進協議会を中心に、ＪＲに対して山陰本線（園部駅以北）複線化の要望活動を実施しました。
毎年継続して要望活動を実施しており、平成23年度から27年度（5ヶ年）までの活動回数目標5回に対して、平成27年度までの実績は5回であり、100%の達成率としています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった要望活動回数については、目標に対して実績が100％となり、山陰本線京都中部複線化促進協議会を中心に園部駅以北の複線化と大阪方面への直接乗り入れ構想の実現に向けた取り組みを推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

園部駅以北の複線化と大阪方面への直接乗り入れ構想の展望が開けるように、促進活動の継続が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

山陰本線京都中部複線化促進協議会を中心に関係機関と協力し、園部駅以北の複線化と大阪方面への直接乗り入れ構想の展望が開けるよう促進活動を推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ＪＲ千代川駅東側広場等整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ＪＲ千代川駅は市北部地域の拠点として、利用者の利便性・安全性の向上を図るため、バリアフリー基本構想を策定し、駅東側広場や駅舎整備を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	－	－	－
平成24年度	バリアフリー基本構想策定	バリアフリー基本構想策定	（バリアフリー基本構想策定費） 5,865,000円
平成25年度	整備計画策定	整備計画策定 測量・設計 用地取得	（調査測量設計業務委託費・用地取得費等） 78,594,440円
平成26年度	用地取得 東側広場等整備工事	用地取得 東側広場等整備工事	（用地取得費・東側広場等整備工事費等） 78,081,650円
平成27年度	東側広場等整備工事	東側広場等整備工事	（東側広場等整備工事費等） 64,673,158円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度の進捗度を100％と設定し、東側広場整備の完成を目標に事業の推進を図ります。
平成24年度は、バリアフリー基本構想(5％)を策定し、平成25年度に調査測量設計業務及び一部の用地取得(25％)が完了、平成26年度に用地取得が完了し整備工事に着手（50％）、平成27年度に整備工事が完了（暫定完成）したことから、進捗度を100％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった東側広場整備の完成については、目標に対して実績が100％となり、利用者の利便性・安全性の向上を図りました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

千代川駅東西の往来を確保する方策の決定とその整備工事に対応することを考慮し、東側広場整備工事は暫定完了となっています。今後の整備は、千代川駅施設のバリアフリー化整備と密接に関連するため、整備内容等についてJR西日本と協議・連携して実施する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成25年3月に策定した「亀岡市バリアフリー基本構想（千代川駅周辺地区）」に基づき、鉄道施設や道路などの一体的・連続的なバリアフリー整備を進めるとともに、だれもが安全にかつ安心して移動できるまちづくりの実現に取り組みます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		主原　晴菜	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ＪＲ亀岡駅自由通路等施設管理事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ＪＲ亀岡駅自由通路等の適正管理のため、業務の効率化などによる維持管理コスト抑制と良好で安定した維持管理を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	前年度に引き続き、長期継続契約（H21～H25)を基本に、安定した維持管理と業務の効率化を図る	長期継続契約により維持管理コストの上昇を抑制し、適正管理を達成した	12,022,650円
平成24年度	前年度に引き続き、長期継続契約（H21～H25)を基本に、安定した維持管理と業務の効率化を図る	長期継続契約により維持管理コストの上昇を抑制し、適正管理を達成した	11,991,880円
平成25年度	前年度に引き続き、長期継続契約（H21～H25)を基本に、安定した維持管理と業務の効率化を図る また、コスト上昇の抑制を念頭に検討を加え、次年度以降（H26～）の長期継続契約を新たに締結する	長期継続契約により維持管理コストの上昇を抑制し、適正管理を達成した 次年度以降（H26～30）の長期継続契約を締結した	12,746,703円
平成26年度	新たに締結した長期継続契約を基本に、安定した維持管理と業務の効率化を図る	長期継続契約により維持管理コストの上昇を抑制し、適正管理を達成した	14,576,584円
平成27年度	前年度に引き続き、長期継続契約を基本に、安定した維持管理と業務の効率化を図る	長期継続契約により維持管理コストの上昇を抑制し、適正管理を達成した	14,883,794円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

長期継続契約による維持管理コストの抑制と良好で適正な維持管理を実施しました。
平成25年度に長期継続契約を締結（50%）し、平成23年度から平成27年度（5ヶ年）において適正な維持管理（10%×5年）を実施しましたので、目標年度に対して100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった長期継続契約による維持管理コストの抑制と適正な維持管理については、目標に対して実績が100％となり、業務の効率化などによる維持管理コストの抑制と、良好で安定した維持管理を推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

事業を点検する中で、維持管理コストの抑制と適正な維持管理のための取り組みを継続する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

施設維持管理業務の効率化などにより、亀岡駅自由通路等の維持管理のコスト抑制と良好で安定した維持管理を推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	土木管理課	係	管理係
担当者		伊藤　涼	直通	25-5043	内線	3433

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	1	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	違法駐車・放置自転車防止対策関係事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民の良好な生活環境を確保し、都市機能の維持及び増進に貢献すると共に、安全・安心なまちづくりの構築に資することを目的に、ＪＲ４駅周辺において朝の通勤・通学時間帯に自転車利用者に対し、２人一組で３時間程度、自転車放置防止の啓発を図る。また、自転車放置禁止区域内の放置自転車に対しては、警告の後、撤去活動を月１回実施する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	街頭啓発指導　151回 指導啓発従事延　1,208人 放置自転車撤去　月１回	街頭啓発指導　151回 指導啓発従事延　1,208人 放置自転車撤去　305台	4,491,258円
平成24年度	街頭啓発指導　154回 指導啓発従事延　1,232人 放置自転車撤去　月１回	街頭啓発指導　154回 指導啓発従事延　1,232人 放置自転車撤去　月１回	3,523,318円
平成25年度	街頭啓発指導　154回 指導啓発従事延　1,232人 放置自転車撤去　月１回	街頭啓発指導　232回 （116×2回/日） 指導啓発従事延　928人 放置自転車撤去　月１回	3,518,964円
平成26年度	街頭啓発指導　154回 指導啓発従事延　1,232人 放置自転車撤去　月１回	街頭啓発指導　226回 （113×2回/日） 指導啓発従事延　904人 放置自転車撤去　月１回	3,856,170円
平成27年度	街頭啓発指導　154回 指導啓発従事延　1,232人 放置自転車撤去　月１回	街頭指導啓発　218回 （109×2回/日） 指導啓発従事者延　872人 （109日×8人） 放置自転車撤去　12回/年	3,631,989円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成２７年度の目標を１００％として設定しているため、平成２７年度までの完了は１００％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・指導啓発及び撤去保管の対象となった自転車の台数は年々減少しており、指導啓発業務の成果が表れている。

平成25年度	街頭指導啓発	3,209台/年（27.7台/日）			
平成26年度	街頭指導啓発	1,910台/年（16.9台/日）	前年度比	1日あたり	39.0%減
平成27年度	街頭指導啓発	1,226台/年（11.2台/日）	前年度比	1日あたり	33.7%減
平成25年度	放置自転車撤去	145台/年（12.1台/日）			
平成26年度	放置自転車撤去	106台/年（8.8台/日）	前年度比	1日あたり	27.3%減
平成27年度	放置自転車撤去	96台/年（8.0台/日）	前年度比	1日あたり	9.1%減

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度の事業結果より、1日の指導啓発業務で平均11台以上の自転車が放置されている状況である。また、撤去保管については1回の撤去業務で平均8台が撤去される状況である。
特に、年度を問わず亀岡駅と馬堀駅周辺の占める割合が高く、当該区域における指導啓発を強化する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

放置自転車の多い、亀岡駅及び馬堀駅周辺での業務回数を増やし、並河駅及び千代川駅周辺での業務回数を減らすことで業務費を抑えつつ効率的な指導啓発業務を行う。また、平成28年度については土日祝日の業務も試行的に行っているため、その結果を踏まえつつ業務日の検討も行う。
平成28年度の業務委託はすでに契約済みであるため、上記内容は平成29年度業務から適用していく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	42
②事業名	コミュニティバス運行事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

本市公共交通の核となるＪＲ亀岡駅を起点として、市街地内で路線バスの運行がない地域の交通を確保するとともに、公共施設・医療施設・商業施設等をネットワークで結び、公共交通の利用促進や利便性向上を図ります。
また、東部地区の交通空白地解消を図るため篠地区においてコミュニティバスの試験運行を実施します。運賃は100円均一。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数92,000人	平成23年度実績95,631人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成 統一路線番号の設定	（主に委託料） 14,541,522円
平成24年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数93,000人	平成24年度実績99,881人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成	（主に委託料） 13,662,701円
平成25年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数94,000人	平成25年度実績98,302人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成	（主に委託料） 13,376,719円
平成26年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 新規路線検討 目標利用者数95,000人	平成26年度実績100,766人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成	（主に委託料） 14,448,524円
平成27年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 新規路線検討、実験 目標利用者数99,000人	平成27年度実績102,639人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成 バス停増設2カ所 新路線試験運行実施（篠地区）	（主に委託料） 22,644,649円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

ＪＲ等と連携したダイヤ編成などにより、コミュニティバス利用者への利便性向上を図りました。
平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標利用者数である延べ473,000人に対して、平成27年度末での利用者数が延べ497,219人となりましたので、目標年度に対して100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった利用者数については、目標に対して実績が100％となり、ＪＲ等と連携したダイヤ編成やバス停の増設などにより、コミュニティバス利用者への利便性向上に向けた取り組みを推進しました。
また、東部地区の交通空白地解消を図るため篠地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

コミュニティバスの利便性向上や市民への啓発など、利用者の増加を図るための取り組みを推進する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

公共交通による利便性を高めるため、市街地内の路線バスが運行していない地域に交通手段を確保するとともに、買い物や通院、公共施設へのアクセスの強化を図ります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	43
②事業名	ふるさとバス運行事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

民間バス事業者の破綻による廃止路線の代替措置として、市内周辺地域における生活路線を維持確保するために運行しています。5路線13系統（川東・別院・畑野・畑野千代川・並河駅コース）。運賃は区間により100円若しくは200円。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数116,000人	平成23年度実績134,064人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成 統一路線番号の設定、バス停増設1カ所、経路一部見直し	75,122,697円
平成24年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数119,000人	平成24年度実績135,013人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成 バス停増設1カ所、早朝運行一部見直し	71,425,440円
平成25年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数122,000人	平成25年度実績137,540人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成 ノンステップ車両1台導入	73,633,844円
平成26年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数125,000人	平成26年度実績145,611人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成 バス停増設3カ所、経路一部見直し、夕方便一部見直し	81,164,181円
平成27年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数138,000人	平成27年度実績139,800人 ＪＲ等と連携したダイヤ編成	80,043,611円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

ＪＲ等と連携したダイヤ編成などにより、ふるさとバス利用者への利便性向上を図りました。
平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標利用者数である延べ620,000人に対して、平成27年度末での利用者数が延べ692,028人となりましたので、目標年度に対して100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった利用者数については、目標に対して実績が100％となり、ＪＲ等と連携したダイヤ編成やバス停の増設などにより、ふるさとバス利用者への利便性向上に向けた取り組みを推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

ふるさとバスの利便性向上や市民への啓発など、利用者の増加を図るための取り組みを推進する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

周辺地域の生活交通の確保を目的に、市民が利用しやすく、また利用してもらえるよう、バスサービスの向上を推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域公共交通会議の開催									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・運行経路等の変更に関する審議 ・交通バリアフリー補助に関する審議	交通会議開催2回　運行経路変更1路線、バス停増設1カ所 交通バリアフリー計画（タクシー車両購入）1件	100,860円
平成24年度	・運行経路等の変更に関する審議 ・国の補助金制度改正に伴う会計処理が可能な協議会への組織再編	交通会議開催1回　早朝便運行変更1路線、バス停留所1カ所 調査等を主体的に進める組織としての協議会設立承認	97,600円
平成25年度	・運行経路等の変更に関する審議 ・亀岡市における公共交通に係る取り組みの指針の策定	交通会議開催3回 生活交通改善事業計画承認（ノンステップバス1台）	101,860円
平成26年度	・運行経路等の変更に関する審議 ・利用者ニーズや地域要望に適正に対応する組織運営	交通会議開催2回　運行経路変更1路線、バス停増設5カ所 生活交通改善事業計画承認（ノンステップバス3台）	103,900円
平成27年度	・運行経路等の変更に関する審議 ・利用者ニーズや地域要望に適正に対応する組織運営	交通会議開催2回　新路線試験運行実施（篠地区）、京阪京都交通バス路線延伸の試験運行（上矢田地区）、バス停増設2カ所	99,840円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

地域代表、利用者代表、関係行政委員により、地域住民の利便性の向上と運行地域全体を考慮した審議を行いました。
平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標の会議開催回数である延べ10回に対して、平成27年度末での開催回数が延べ10回となりましたので、目標年度に対して100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった会議開催回数については、目標に対して実績が100％となり、運行経路の変更やバス停の増設など利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けた取り組みを推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

バス利用者の増加を図る中で、地域の実情に即した輸送サービスの実現を目指す必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

バス利用者の増加を図るための施策など、地域住民の利便性の向上と運行地域全体を考慮した施策についての検討や審議を行います。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村　維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公共交通ネットワークの充実									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

平成25年度に亀岡市における公共交通に係る取り組みの指針として策定した「亀岡市地域公共交通計画」に基づいて、バス交通の維持や利便性の向上、公共交通空白地域への対策に取り組む。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・他公共交通機関と連携したダイヤ編成及び連絡調整	・JRのダイヤに合わせダイヤ改正を実施	―
平成24年度	・他公共交通機関と連携したダイヤ編成及び連絡調整 ・調査概要検討、補助事業へ立候補	・JRのダイヤに合わせダイヤ改正を実施 ・調査事業実施承認、事前要望調査票の提出	―
平成25年度	・他公共交通機関と連携したダイヤ編成及び連絡調整 ・調査事業の補助申請、調査の実施、計画策定	・JRのダイヤに合わせダイヤ改正を実施 ・亀岡市地域公共交通協議会設置 ・市民アンケート、利用者や関係者ヒアリングを実施しニーズを把握。調査結果をもとに現状課題、問題点整理。交通計画案作成後、パブリックコメントの意見聴取を踏まえ、亀岡市地域公共交通計画を策定。	（負担金　5,575,000円） （返戻　△4,001,000円） 1,574,000円
平成26年度	・他公共交通機関と連携したダイヤ編成及び連絡調整 ・交通計画に基づくバス路線計画決定	・JRのダイヤに合わせダイヤ改正を実施 ・交通空白地域の解消に向けての地元協議	―
平成27年度	・他公共交通機関と連携したダイヤ編成及び連絡調整 ・交通計画に基づくバス路線計画決定	・JRのダイヤに合わせダイヤ改正を実施 ・交通空白地域の解消に向けての地元協議、篠地区コミュニティバス試験運行実施	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

ＪＲ・京阪京都交通バスと連携したダイヤを編成しました。公共交通ネットワークの充実に向けて、亀岡市地域公共交通計画を策定しました。

平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標である計画策定（50%）、年１回以上のダイヤの改正（50%）に対して、平成25年度に亀岡市地域公共交通計画を策定し、平成23年度から平成27年度までで年1回以上のダイヤの改正を実施しましたので、目標年度に対して100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった計画策定と年１回以上のダイヤの改正については、目標に対して実績が100％となり、平成25年度に亀岡市における公共交通に係る取り組みの指針として策定した「亀岡市地域公共交通計画」に基づいて、バス交通の維持や利便性の向上、公共交通空白地域の解消に関する取り組みを推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

市民の足としての公共交通機関の維持及び活性化を推進するため、市内交通事業者（バス、鉄道、タクシー）と連携・役割分担しながら、各種取り組みを継続する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

鉄道、バス、タクシーなど公共交通を主体に、買い物や通院などの基本的な移動がおおむね可能となる基礎的ネットワークの構築を図ります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	桂川の整備促進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○桂川の整備促進
桂川治水対策は、事業主体である京都府が昭和62年9月に発表した「桂川改修全体計画」に基づき進められています。治水対策の1つの柱である日吉ダムは平成10年4月に稼働、もう1つの柱である河道改修は、当面計画による整備が平成21年度に概成しましたが、依然として治水安全度は十分ではなく、引き続き段階的に河道改修が進められているところです。現在進められている暫定計画（ステップ１）による河道改修は、平成27年度頃に完成する見込みですが、そこで留まることなく暫定計画（ステップ２、３）そして基本計画へと着実に河川改修が進められるよう、促進活動を展開します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・高水敷掘削 ・護岸、築堤整備 ・支川合流処理	・高水敷掘削 ・護岸、築堤整備 ・支川合流処理	638,580円
平成24年度	・高水敷掘削 ・護岸、築堤整備 ・堤防腹付け ・散策路整備	・高水敷掘削(左岸一部及び右岸) ・護岸、築堤整備(保津川遊船前) ・支川合流処理(西川) ・堤防腹付け(支川：年谷川) ・散策路整備(左岸)	550,475円
平成25年度	・高水敷掘削 ・護岸、築堤整備等	・高水敷掘削(右岸) ・護岸整備(保津川遊船前) ・保津川さくら広場整備 ・堤防腹付け(右岸堤防) ・山本浜の護岸(根固)整備	7,832,880円
平成26年度	・高水敷掘削 ・護岸整備	・高水敷掘削(右岸) ・保津川さくら広場完成 ・堤防腹付け(右岸堤防) ・山本浜の護岸(根固)整備 ・園路整備(支川：年谷川)	4,857,740円
平成27年度	・高水敷掘削等	・高水敷掘削(右岸) ・園路整備(右岸) ・平成２８年度にステップ１完成予定	700,384円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

○前期基本計画の目標年度である平成27年度に向け事業促進を図りました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○暫定整備計画のステップ１(高水敷掘削、堤防嵩上げ等)か進められ、平成２８年度に完成予定である。
○保津川かわまちづくり計画による、保津川さくら広場・園路整備が完成した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○桂川の整備については、下流(国直轄区間)との整合を図った整備が必要となる。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○平成28年度以降についても、上下流バランスを確保しつつ治水安全度の着実な向上を図り、戦後最大洪水を安全に流下させることを目指し段階的かつ着実な整備を進めていただくよう、促進活動を展開する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	中小河川の改修促進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○中小河川の改修促進（一級河川）
良好な水辺空間の保全・創出に努め、水生生物の生息環境に十分配慮しつつ、各河川毎に改修を促進します。
・千々川（京都縦貫道より下流区間）Ｌ＝６４０ｍ
・山内川（山内橋より上流区間）Ｌ＝４００ｍ
・菰川（大門橋より下流区間）Ｌ＝５００ｍ
・法貴谷川（国道４２３号より下流区間）Ｌ＝４００ｍ
・雑水川（ＪＲより上流区間）Ｌ＝２２０ｍ
・雑水川（緑橋より上流区間）Ｌ＝１７０ｍ
・愛宕谷川（府道亀岡園部線より上流区間）Ｌ＝１２０ｍ

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	各河川の改修	各河川整備中	0円
平成24年度	各河川の改修	・菰川 L=500m 整備済	0円
平成25年度	各河川の改修	・千々川　Ｌ＝640mのうち約440m整備済 ・法貴谷川　Ｌ＝400mのうち約300m整備済 ・雑水川（ＪＲより上流区間）Ｌ＝220mのうち約120m整備済 ・雑水川（緑橋より上流区間）Ｌ＝170mのうち約30m整備済 ・愛宕谷川（府道亀岡園部線より上流区間）L＝120mのうち約30m整備済（橋梁架け替え含む）	0円
平成26年度	各河川の改修	・千々川　Ｌ＝640mのうち約100m整備済 ・山内川Ｌ＝400mのうち約350m整備済 ・法貴谷川　Ｌ＝400mのうち約50m整備済 ・雑水川（ＪＲより上流区間） Ｌ＝220mのうち約80m整備済 ・愛宕谷川（府道亀岡園部線より上流区間）L＝120mのうち約60m整備済（橋梁架け替え含む）	0円
平成27年度	各河川の改修	・千々川　Ｌ＝640m　　整備済 ・山内川Ｌ＝400m　　整備済 ・法貴谷川　Ｌ＝400m　整備済 ・雑水川（ＪＲより上流区間） Ｌ＝220mのうち約200m整備済 ・愛宕谷川（府道亀岡園部線より上流区間）L＝120m 整備済	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

○全体改修延長Ｌ＝２，４５０ｍ（６河川）
※平成２３年度時点では整備中であるため、進捗はゼロとする。
※改修済延長／期間中改修延長（2,450m）により整備率を算定する。
進捗率　2,290m／2,450m

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○千々川（京都縦貫道より下流区間）Ｌ＝６４０ｍ　整備済
○山内川（山内橋より上流区間）Ｌ＝４００ｍ　　整備済
○菰川（大門橋より下流区間）Ｌ＝５００ｍ　　整備済
○法貴谷川（国道４２３号より下流区間）Ｌ＝４００ｍ　　整備済
○雑水川（ＪＲより上流区間）Ｌ＝２２０ｍのうち約２００ｍ　　整備済
○雑水川（緑橋より上流区間）Ｌ＝１７０ｍのうち約３０ｍ　　整備済
○愛宕谷川（府道亀岡園部線より上流区間）Ｌ＝１２０ｍ　　整備済

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○雑水川改修については亀岡市の中心市街地を流れていることから、用地・物件補償や占用物件等の調整事項が数多くあり、計画どおりの進捗が難しい状況であった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○亀岡市としては、雑水川の改修に併せて、京都スタジアム(仮称)や駅北整備に伴う交通量の増加が見込まれることから、春日坂交差点の市道クニッテルフェルト通の拡幅事業を当該整備と併せて進める予定としてる。また、春日小橋については府道亀岡園部線南々伸事業に係る整備区間の入り口となる場所であることから、将来の計画道路幅(１６ｍ)を見込んだ橋梁の架け替えを予定している。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西　孝臣	直通	２５－５０７４	内線	3414

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	44
②事業名	民間開発等との連携									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

現在未改修の準用河川牧田川を民間開発（区画整理事業）との連携により整備促進し、市民の生命・財産を水害や土砂災害から守るため河川整備を進めます。

・準用河川牧田川　　事業期間：平成20年度～平成25年度　事業延長L= 500m(394m)　幅員4.70m

他9河川

※(　)内数値は期間内の事業延長を示す。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=140m、整備率83%）	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=11,956m、整備率82.9%）	用地買収等に関する経費及び工事費 146,627,000円
平成24年度	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=87m、整備率84%）	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=178m、整備率84.1%）	用地買収等に関する経費及び工事費 112,448,810円
平成25年度	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=136m、整備率85%）	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=47m、整備率84.5%）	用地買収等に関する経費及び工事費 29,800,000円
平成26年度	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=　　m、整備率　　%）	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=42m、整備率84.8%）	用地買収等に関する経費及び工事費 26,150,000円
平成27年度	・用地買収 ・改修工事 （整備延長L=　　m、整備率　　%）		

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長(平成23年度は過年度実績延長含む)＋平成21年度目標設定時の実績事業延長(L=11,745m)／全10河川の総事業延長(L=14,420m)の割合から整備率を算定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、準用河川牧田川（第１期事業区間）の河川改修工事を完了しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

治水・利水及び河川環境に配慮した河川構造を検討するにあたり、地元自治会及び農業水利関係者並びにＮＰＯ団体等との協議に時間を要すること、及び補助メニューの検討など財源確保が課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、準用河川牧田川（第２期）の整備に着手し、地元関係者と環境に配慮した計画についての協議を行いながら事業を進めることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	河川改修への市民参加									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○河川改修への市民参画
中小河川の改修計画の策定に関わり、河川毎に市民・ＮＰＯ等と協働して整備計画の策定に向け取組を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	一級河川の改修 （雑水川、西川）	・一級河川の改修（雑水川、西川） ・雑水川アドバイザー会議（２回） ⇒整備中 ・西川遊歩道整備会議（１回） ⇒整備済み	0円
平成24年度	一級河川の改修 （雑水川）	昨年度実施した雑水川アドバイザー会議を踏まえた整備を実施（ＪＲ～市道クニッテル通）　L＝約220の内、約60m整備済	0円
平成25年度	一級河川の改修 （雑水川）	平成２４年度実施した雑水川アドバイザー会議を踏まえた整備を実施（ＪＲ～市道クニッテル通）　L＝220mの内、約120m整備済	0円
平成26年度	一級河川の改修 （雑水川）	平成２４年度実施した雑水川アドバイザー会議を踏まえた整備を実施（ＪＲ～市道クニッテル通）　L＝220mの内、約200m整備済	0円
平成27年度	一級河川の改修 （雑水川）	平成２４年度実施した雑水川アドバイザー会議を踏まえた整備を実施（ＪＲ～市道クニッテル通）　L＝220m整備済	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

○河川改修への市民参画
中小河川の改修計画の策定に関わり、河川毎に市民・ＮＰＯ等と協働して整備計画の策定に向け取組を推進します。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○平成２４年度実施した雑水川アドバイザー会議を踏まえた整備が完成。
（ＪＲ～市道クニッテル通　L＝220m）

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○特になし

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○平成28年度以降についても、中小河川の改修計画の策定に関わり、河川毎に市民・ＮＰＯ等と協働して整備計画の策定に向け取組を推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	河川の親水性の向上									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○河川の親水性の向上
市民が自然や水と親しめる空間を創出するため、各河川整備において、親水性の向上を目指した整備を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	一級河川の整備 （雑水川、西川）	一級河川整備 雑水川（自然護岸、澪筋整備） 西川（澪筋整備）	0円
平成24年度	一級河川の整備 （雑水川）	雑水川（ＪＲ～市道クニッテル通間の親水性整備：約２２０ｍ）の内、６０ｍ整備済	0円
平成25年度	一級河川の整備 （雑水川）	・雑水川（ＪＲ～市道クニッテル通間の親水性整備：約２２０ｍ）の内、約１２０ｍ整備済	0円
平成26年度	一級河川の整備 （雑水川）	・雑水川（ＪＲ～市道クニッテル通間の親水性整備：約２２０ｍ）の内、約２００ｍ整備済	0円
平成27年度	一級河川の整備 （雑水川）	・雑水川（ＪＲ～市道クニッテル通間の親水性整備：約２２０ｍ整備済）	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

○平成２７年度までを全体とし、各年度を均等に進捗度を設定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○雑水川（ＪＲ～市道クニッテル通間２２０ｍ）の親水性整備完成。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○特になし

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○平成28年度以降についても、各河川整備において親水性の向上を目指した整備を推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	45
②事業名	桂川堤防・護岸高水敷の活用									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○桂川堤防・護岸高水敷の活用
「保津川かわまちづくり計画」に基づき、川を活かしたまちづくり・まちを活かした川づくりを推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	○土地利活用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会開催・ワーキンググループ（5グループ）会議の開催・グループ長会議開催・保津川「花回廊」の整備（桜植樹）右岸Ｌ=約200ｍ、27本・年谷川千本松「野橋立」の復元（松植樹）左岸L=約160m、22本	○土地利活用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・WG（5グループ）会議を11回開催・グループ長会議を1回開催・保津川「花回廊」の整備(桜植樹)）右岸Ｌ=約200m、27本・年谷川千本松「野橋立」の復元(松植樹)左岸L=約160m、22本	桂川高水敷土地利用事業経費 7,578,180円
平成24年度	○土地利活用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会開催・ワーキンググループ（5グループ）会議の開催・グループ長会議開催・保津川「花回廊」の整備(堤防園路整備)左岸L=約600ｍ・年谷川千本松「野橋立」の復元(松植樹、堤防腹付整備)右岸L=約430ｍ、約60本	○土地利活用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・WG（5グループ）会議を14回開催・グループ長会議を2回開催・保津川「花回廊」の整備(堤防園路整備)左岸L=約600ｍ・年谷川千本松「野橋立」の復元(松植樹、堤防腹付整備)右岸L=約430ｍ、58本	桂川高水敷土地利用事業経費 9,146,910円
平成25年度	・保津川「花回廊」の整備(桜植樹、堤防腹付整備等)右岸L=約450ｍ、約60本・年谷川千本松「野橋立」の復元(松植樹)左岸L=約210ｍ、約30本・整備手法の検討(概算事業費の算定、年次計画の策定等)・包括占用の協議、調整・管理運営主体の協議、調整	○土地利活用構想の策定・承認 保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・WG会議を4回開催・保津川「花回廊」の整備　桜植樹Ｌ＝約300m 40本・年谷川千本松「野橋立」の復元　松植樹L＝約135m 18本・保津川さくら広場整備	桂川高水敷土地利用事業経費 7,832,880円
平成26年度	・保津川左岸高水敷の整備に係る都市再生整備計画の策定(５ヶ年計画) ・年谷川右岸園路整備600m ・保津川「花回廊」の整備(桜植樹約１３本) ・土地利活用計画に基づく整備（ゾーニング毎整備）	○保津川左岸高水敷の整備に係る都市再生整備計画の策定(～平成29年度)・保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・保津川かわまちづくりに係る地元まちづくり団体との協議４回・保津川「花回廊」の整備桜植樹(Ｌ＝約78m 13本)・年谷川右岸園路にベンチ設置(6基)	桂川高水敷土地利用事業経費 4,857,740円
平成27年度	・保津川左岸高水敷を保津川かわまちづくり全体計画図に基づき整備(都市再生整備計画事業として) ・年谷川・保津川右岸園路整備800m	○都市再生整備計画に基づき左岸高水敷に多目的広場を整備・平成・保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・水端かわまちワーキンググループを２回開催・桂川右岸園路にベンチ設置(8基)	桂川高水敷土地利用経費 高水敷公園整備事業費 95,801,828円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

○平成２７年度までを全体とし、各年度を均等に進捗度を設定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○保津川かわまちづくり計画の推進組織として、平成２３年９月に保津川かわまちづくり推進協議会を発足させた。
○保津川かわまちづくり計画に基づき、亀岡市・京都府・篠町自治会の協働による地域主導型公共事業において、桂川右岸を「保津川花回廊」・年谷川堤防を「千本松 野橋立」として整備を実施した。
○平成２６年度に「都市再生整備計画」を策定し、保津川左岸高水敷の整備を事業着手。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○整備後の管理方法について、大きな財政的負担が掛からない方法を検討していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○都市再生整備計画による保津川左岸高水敷の整備については、平成２９年度完成を目標に事業を進める。
○保津川かわまちづくり推進協議会において、課題である維持管理の方法、又、桂川右岸高水敷整備手法等について検討を進める。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅　邦啓	直通	２５－５０７０	内線	3412

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地元との協議・協働による施設管理									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○地元との協議・協働による河川施設の管理
河川沿線の環境に配慮し、地元自治会等との協働により、一級河川における定期的な清掃等のボランティア活動を通じて整備・維持管理を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	南丹ふる里の川愛護事業　推進	２団体：新規登録 （累計：１３団体登録）	0円
平成24年度	南丹ふる里の川愛護事業　推進	６団体：新規登録 （累計：１９団体登録）	0円
平成25年度	南丹ふる里の川愛護事業　推進	２団体：新規登録 （累計：２１団体登録）	0円
平成26年度	南丹ふる里の川愛護事業　推進	２団体：新規登録 （累計：２３団体登録）	0円
平成27年度	南丹ふる里の川愛護事業　推進	１団体：新規登録 （累計：２４団体登録）	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成２７年度までを全体とし、各年度を均等に進捗度を設定した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

○計画期間中に、「南丹ふる里の川愛護事業」に１３団体の新規登録がされた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

○特になし

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

○平成２８年度以降についても、一級河川における定期的な清掃等のボランティア活動を通じて整備・維持管理を推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	水道課	係	計画係
担当者		西田隆	直通	0771-25-6707	内線	3653

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	水道施設の老朽管更新・耐震化の推進　老朽管更新									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水道施設について、震災等により構造物や管路等が破損・損傷の被害を受ければ、広範囲・長期にわたって断水が生じます。水道以外に清浄な水を得る手段がない水道利用者は長期間に渡り日常生活に支障をきたし、不安、不自由を強いられることとなります。大規模地震発生等における水道施設の被害と市民生活への影響を最小限に抑えるため、基幹施設(浄水場・配水池・配水幹線や主要な管路)の耐震化を推進するとともに、耐用年数を経過している埋設管や腐食等により老朽化した配水管等を計画的・効果的に更新し災害に強い施設整備を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・水道マッピングシステム導入検討	・水道マッピングシステム導入検討	0円
平成24年度	・水道マッピングシステム実施	・水道マッピングシステム構築業務実施	(マッピングシステム構築業務委託費) 10,069,500円
平成25年度	・水道マッピングシステム完了 ・配水管等管路更新計画策定	・水道マッピングシステム完了	(マッピングシステム構築業務委託及び関連業務委託費) 27,284,250円
平成26年度	・配水管等管路更新計画策定 ・老朽管更新工事	・配水管等管路更新設計業務委託 ・老朽管更新工事	(老朽管更新工事) 93,435,120円
平成27年度	・老朽管更新工事	・配水管等更新計画策定 ・老朽管更新工事	73,856,880円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

老朽管更新事業を経済的・効率的に実施するため、水道マッピングシステムを導入し管路の情報を正確、的確に把握したうえで、配水管等管路更新計画（基幹管路の耐震化含む）を策定し、計画的に配水管等の老朽化更新にあわせ管路の耐震化を推進しています。

進捗度の算定は、水道マッピングシステム導入5%、配水管路更新計画策定5%、老朽管更新工事90%としていましたが、全てを計画どおり進めることができました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

水道マッピングシステムを導入することにより、適切な配水管等管路更新計画を策定することができました。更新工事についても、計画に対して100%の進捗を達成し、工事済区間においては、災害に強い耐震管路とすることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

占用条件(既設管撤去・埋設物の輻輳による更新管路位置の選定)

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も計画に基づき老朽管更新・耐震化を進めて行きますが、必要に応じて安価な材料を採用する等、工事費用の削減を最大限考慮し、事業を進めて行きます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	水道課	係	計画係
担当者		西田隆	直通	0771-25-6707	内線	3653

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	水道施設の老朽管更新・耐震化の推進　耐震化の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水道施設について、震災等により構造物や管路等が破損・損傷の被害を受ければ、広範囲・長期にわたって断水が生じます。水道以外に清浄な水を得る手段がない水道利用者は長期間に渡り日常生活に支障をきたし、不安、不自由を強いられることとなります。大規模地震発生等における水道施設の被害と市民生活への影響を最小限に抑えるため、基幹施設(浄水場・配水池・配水幹線や主要な管路)の耐震化を推進するとともに、耐用年数を経過している埋設管や腐食等により老朽化した配水管等を計画的・効果的に更新し災害に強い施設整備を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・浄水場耐震補強工事 ・配水池耐震補強実施設計 (基幹施設の耐震化率　67%)	・三宅浄水場耐震補強工事 ・湯井配水池耐震補強実施設計	(三宅浄水場耐震補強工事)71,986,950円 (湯井配水池耐震補強実施設計)4,389,000円
平成24年度	・浄水場耐震補強工事 ・配水池耐震補強工事 (基幹施設の耐震化率　81%)	・第2(千代川)浄水場耐震補強等工事・湯井1・2号配水池耐震補強工事 (基幹施設の耐震化率　81%)	(千代川浄水場、湯井配水池耐震補強工事他)　93,650,000円
平成25年度	・配水池耐震及び新設(移転)工事 (基幹施設の耐震化率　95%)	・西山配水池移転工事に伴う林道整備工事詳細設計業務 ・西山配水池移転工事に伴う申請書類作成業務 (基幹施設の耐震化率　81%)	(業務委託費) 1,627,500円
平成26年度	・配水池新設耐震(移転)工事	・西山配水池用地各協議及び登記業務	32,378円
平成27年度	・配水池新設耐震(移転)工事完了(計画) (基幹施設の耐震化率　100%)	・西山配水池新設(移転)工事完了	232,070,400円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

基幹施設(浄水場・配水池)老朽化更新、耐震化については、耐震化必要施設21箇所のうち、平成26年度末には4箇所(西山配水池・王子配水池・南つつじヶ丘第1加圧ポンプ場ポンプ台・南つつつじヶ丘第2高区配水池流量計台)を除く17箇所が耐震施設となっていました。

平成27年度は、西山配水池新築（移転）工事を完了しましたが、王子配水池については、関連する民間開発計画との整合を図るため、着手できませんでした。また、その他2箇所については、機器の更新時に対応する予定です。よって、18箇所/21箇所で、進捗度85.7%としています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

基幹施設における建物(構造物)本体の耐震化については、王子配水池についてのみ、民間開発計画との整合を図るため、完了することができませんでした。なお、南つつじヶ丘第1加圧ポンプ場ポンプ台・南つつじヶ丘第2高区配水池流量計台の2箇所については、建物本体ではないため、経費削減の観点から機器(ポンプ及び流量計)の更新時に併せて実施する計画としました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

王子配水池については、これまでの協議の結果、基本的には関連地域での民間開発計画に整合することが効率的で経済的であるとの観点から整合を図っているものです。開発の進展状況によっては、市単独で用地を選定し、配水池の新設(移転)工事を行う方向で進めることとしますが、用地の選定・取得には、ある程度の時間を要するものと予想されます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

基幹施設の耐震化推進は、絶対的に必要な事業であり、早期に完了する必要があるので、引き続き取組を強化していきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	水道課	係	計画係
担当者		西田隆	直通	0771-25-6707	内線	3653

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	緊急給水拠点の整備									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

大規模な災害発生時などの応急給水体制として、給水拠点を確保する必要があります。このため、配水池の容量を一日最大給水量の12時間以上の貯溜量に増設し、また緊急遮断弁を設置して、緊急給水拠点としての整備を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・配水池新設(移転)計画地土質調査	・西山配水池新設（移転）計画地土質調査	2,667,000円
平成24年度	・配水池新設(移転)工事詳細設計他	・西山配水池新設（移転）工事実施設計 ・調査測量業務委託 ・用地鑑定評価	13,514,000円
平成25年度	・配水池新設(移転)工事	・西山配水池移転工事に伴う林道整備工事詳細設計業務 ・西山配水池移転工事に伴う申請書類作成業務	1,627,500円
平成26年度	・配水池新設(移転)工事 ・配水池築造基本計画及び詳細設計業務	西山配水池用地各協議及び登記業務	32,378円
平成27年度	・配水池新設(移転)工事完了	・西山配水池新設(移転)工事完了	232,070,400円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

浄水場及び配水池における給水拠点整備については、上水道での計画施設数9施設のうち、現時点で王子配水池を除く8施設が完了しました。よって、最終の進捗率は8/9箇所＝88.9%となります。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

王子配水池については、民間開発計画との整合を図るため、完了することができませんでした。その他の施設については、計画どおり整備を進めることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

王子配水池については、これまでの協議の結果、基本的には関連地域での民間開発計画に整合することが効率的で経済的であるとの観点から整合を図っているものです。開発の進展状況によっては、市単独で用地を選定し、配水池の新設(移転)工事を行う方向で進めることとしますが、用地の選定・取得には、ある程度の時間を要するものと予想されます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

給水拠点の整備は、災害に備えて必要な事業であり、早急に完了する必要があるので、引き続き取組を強化していきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	水道課	係	整備管理係
担当者		河原浩一	直通	25-6704	内線	3657

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	漏水防止対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水道水については、取水、導水、浄水といった処理過程に相応の経費(電気代、薬品費等)を必要とすることから、漏水が発生することによって経済的損失が伴うという問題が上げられる。また、漏水が出水不良の原因や水道水の汚染の恐れとなるとともに、道路陥没や冬季の路面凍結による二次災害の発生原因ともなる。漏水防止に取り組むことにより、無駄のない水の供給が促進され、水資源の有効利用と浄水に要するエネルギーコストの縮減が図られることから、早期に漏水箇所を修繕し、有収率の向上を目指すことが重要である。平成21年度に策定した亀岡市水道ビジョンにより、平成31年度に有収率90%を目標値としています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度		有収率87.9%	0
平成24年度	有収率88.0% (マッピングシステム構築)	有収率88.1% (マッピングシステム構築)	0
平成25年度	有収率88.5% (マッピングシステム構築)	有収率87.2% (マッピングシステム構築)	0
平成26年度	有収率89.0% (漏水防止対策計画の検討)	有収率87.2% (漏水防止対策計画の検討)	0
平成27年度	有収率89.5% (漏水防止対策計画の策定)	有収率86.4% (漏水防止対策計画の策定)	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度漏水防止計画の策定を完了しました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期については、効率的・効果的な調査を行うため、漏水防止対策計画を樹立しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

効率的、効果的な事業となる漏水防止計画策定とするため、調査・対策は出来ませんでした。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度からは前期にて樹立した漏水防止対策計画に基づき漏水調査を実施し、有収率向上を目指します。目標有収率は平成32年度に91%とします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	水道課	係	計画係
担当者		西田隆	直通	0771-25-6707	内線	3653

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	1	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	簡易水道統合整備の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

平成19年度において厚生労働省の国庫補助制度の見直しがあり、地域の実情に応じ、事業の統合化・広域化を推進し、財務・技術基盤の強化を通じた効率的な経営体制の確立を図るべく、実質的な1事業体1水道事業への方向が示され、亀岡市においては平成28年度末をもって、簡易水道事業整備にかかる国庫補助制度の適用は受けられなくなります。このため、本市においては5箇所の簡易水道事業、1箇所の飲料水供給施設がありますが、地元との調整・協議を行い上水道への統合可能な地域において、簡易水道等の上水道への統合整備を推進し、安全・安心・安定した飲料水供給と経営の安定化を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・東西別院町地区における、水道未普及解消事業への地元意向調査により、水道整備についての方針決定。	・東西別院町「水道水」確保のアンケート調査により、水道未普及地域の飲用水等安定確保補助金制度を創設。	0円
平成24年度	・簡易水道統合整備計画策定 ・地元関係者協議	・簡易水道統合整備計画策定 ・地元関係者協議	0円
平成25年度	・簡易水道統合整備計画策定 ・地元関係者協議 ・上下水道経営審議会協議	・簡易水道統合整備計画策定 ・地元関係者協議 ・関係機関協議(京都府)	0円
平成26年度	・事業実施方針決定 ・議会承認 ・給水条例変更 ・事業変更認可取得	・事業実施方針決定 ・議会承認 ・地元協議	0円
平成27年度	・統合事業着手	・老朽管更新工事 ・老朽管更新工事設計業務 ・加圧ポンプ施設用地取得 ・認可変更業務	186,572,933円 国庫補助金 18,797,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

簡易水道の統合整備は、5箇所の簡易水道事業(保津・千歳・川東・犬甘野・柚原)の内、全ての簡易水道について、上水道編入に係る事業に着手しました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初の期限である平成28年度末での簡易水道統合事業を完了すべく、一部簡易水道(川東・犬甘野)については、老朽管更新工事に着手しました。また、その他の簡易水道(保津、千歳)についても、老朽管更新工事の設計業務を完了しました。なお、柚原簡易水道については、地元の合意を図るとともに、国庫補助金交付の前提となる既存施設の認可変更を完了しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度における補助金が、要望の約74%しか交付されなかったため、設計については、柚原簡易水道を除く４簡易水道につき完了したものの、工事については、計画どおりに進めることができませんでした。
なお、柚原簡易水道の設計が行えなかった原因は、国庫補助金交付の前提となる既存施設の認可変更に時間を要したためです。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

要望額満額の補助が確保できることは不明確でありますが、今後も、国庫補助金を有効活用して事業を進め、早期の各簡易水道事業の上水道事業への統合を進めて行きます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	経営係
担当者		木村　公一	直通	0771-25-6761	内線	3614

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	水道事業の経営状況の改善事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水道事業の経営状況を的確に把握し、健全財政の確立に向けて経営診断項目について継続的に点検・評価を行うため、附属機関である「亀岡市上下水道事業経営審議会」を定期的に開催し第三者の意見を聞くとともに、上下水道部に経営会議を設置するなど、経営の健全化を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の開催による経営状況の点検・評価 ・給水収益1,122,826千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・給水収益1,092,148千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）87,300円
平成24年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の設置 ・給水収益1,132,529千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の設置・開催 ・給水収益1,060,188千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）155,200円
平成25年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・料金改定の実施 ・給水収益1,136,526千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・料金改定の実施 ・給水収益1,106,872千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）126,100円
平成26年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・中長期財政計画の見直し検討 ・給水収益1,113,555千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・中長期財政見通しの見直し実施 ・給水収益1,084,942千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）135,800円
平成27年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・給水収益1,084,616千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・給水収益1,088,565千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）106,700円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成23年度から平成27年度までの給水収益当初目標額合計5,590,052千円に対する平成23年度から平成27年度までの給水収益実績額合計5,432,715千円の割合として、97.2%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成25年度から第2段階の水道料金の改定を行い、収入を確保し経営の健全化を図りました。また、「亀岡市上下水道事業経営審議会」を定期的に開催し、学識経験者や需要家代表などの委員により、水道事業の経営状況の継続的な点検・評価を実施するとともに、平成24年度からは上下水道部経営会議を設置し、事業進捗の管理及び経営状況の把握などに取り組み、経営の健全化を推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

経営の健全化に向けた取組を推進しているものの、社会経済情勢の変化が激しく、給水収益が目標額に対して伸び悩んでいます。今後も、人口減少や節水型社会の進行、また老朽化した水道施設の耐震化更新などへの投資により、厳しい経営状況が続くと予測していますので、財政見通しを精査するなど、経営の健全化に継続して取り組み、経営基盤の安定を図る必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、「亀岡市上下水道事業経営審議会」及び上下水道部経営会議を引き続き定期的に開催するとともに、中長期の財政見通しによる計画的な経営基盤の安定を図ることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	お客様サービス課	係	料金係
担当者		三宅　邦子	直通	0771-25-6770	内線	3641

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	水道料金の収納確保									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

上水道事業の経営健全化に向けて口座振替制度などの周知や利用者に便利なコンビニ収納などの期限内納付の意識啓発を図ることにより、水道料金の収納確保を推進します。また、滞納者に対しては給水停止を執行するなど、滞納額の増加を抑止していきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	上水道料金収納率92.00%（3月末）	上水道料金収納率90.80%	－
平成24年度	上水道料金収納率99.00%（5月末）	上水道料金収納率98.48%	－
平成25年度	上水道料金収納率99.00%（5月末）	上水道料金収納率98.42%	－
平成26年度	上水道料金収納率99.00%（5月末）	上水道料金収納率98.68%	－
平成27年度	上水道料金収納率99.00%（5月末）	上水道料金収納率98.46%	－

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

5年間の収納率の目標数値合計に対する実績数値合計の割合により算定

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

給水停止や夜間徴収の実施、また、土日祝日の窓口業務のＰＲ等を行った結果、水道料金の収納率については目標に対し実績は99.35％となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

支払方法の利便性向上を図るため、コンビニ支払の導入や給水停止失効日には営業時間を延長する等の対応を行い収納率の向上を図っていますが、長引く景気の低迷の影響を受けており、水道料金の未収は固定化する傾向が見受けられ、収納率についても目標に届かず伸び悩んでいます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

期限内納付の意識啓発や口座振替推進のＰＲ活動を強化することで、更に充実させ収納確保を図っていきます。また、口座振替の利便性を向上させるため、ペイジーの口座振替受付サービスを採用します。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	経理係
担当者		人見真司	直通	25-6761	内線	3614

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	事務事業の効率化の推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

民間委託の推進による人員配置の見直しなど、事務事業の効率化に向けた多様な手法の検討の導入を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	包括民間委託の導入	調定及び徴収部門の包括民間委託の推進	(調定収納業務委託料) 65,431,800
平成24年度	包括民間委託の導入 マッピングシステムの導入推進	調定及び徴収部門の包括民間委託の推進 マッピングシステムの導入	(調定収納業務委託料) 65,679,600 (マッピングシステム構築業務委託料) 10,069,500
平成25年度	包括民間委託の導入 マッピングシステムの導入	調定及び徴収部門の包括民間委託の推進 マッピングシステムの導入	(調定収納業務委託料) 65,938,950 (マッピングシステム構築業務委託料) 23,971,500
平成26年度	新たな包括民間委託の推進	調定及び徴収部門の包括民間委託の推進	(調定収納業務委託料) 68,420,160
平成27年度	新たな包括民間委託の推進	調定及び徴収部門の包括民間委託の推進	(調定収納業務委託料) 68,389,920

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

５年間の計画期間における実績（取組内容）により１００％としています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

水道料金等の調定収納業務の包括民間委託を推進し、人員配置の見直しなど事務事業の効率化を図ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

事務事業のさらなる効率化の推進が図れるように、包括民間委託業務の範囲拡大を検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、包括民間委託を継続して推進し、事務事業の効率的な改善に向けて、業務内容の見直しなどを行うなかで、新たな委託業務の検討・導入を図ります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	総務係
担当者		原田　啓子	直通	0771-25-6761	内線	3612

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	水道技術職員の確保及び育成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水道事業経営において、特に水道施設設備に係る電気・計装機器の運転・メンテナンス及び水源確保・水質安定は、その事業の根幹であり、円滑な技術継承のため、水道技術職員の確保及び育成を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	水道技術職員の確保（電気技術職員の採用）及び育成	職員採用試験（平成24年度採用電気技術職員）を12月に実施（採用なし）	日本水道協会浄水場等設備技術実務研修会参加費等　170,570円 【実績額】
平成24年度	水道技術職員の確保（電気技術職員の採用）及び育成	職員採用試験（平成25年度採用電気技術職員）で電気技師1名を採用	日本水道協会水道技術者ブロック別研修会参加費等　52,290円 【実績額】
平成25年度	水道技術職員の育成	水道技術職員実務研修等参加	新規勤務技術職員実務研修参加費等 53,810円 【実績額】
平成26年度	水道技術職員の育成	水道技術職員実務研修等参加	日本水道協会水道技術者ブロック別研修会参加費等 163,760円 【実績額】
平成27年度	水道技術職員の育成	水道技術職員実務研修等参加	日本水道協会水道技術者ブロック別研修会参加費等　177,420円 【実績額】

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→					平成27年度

（その根拠）

水道技術職員を確保（電気技術職員の採用）できた場合は全体の50%、水道技術職員の育成においては技術実務研修への参加等により毎年10%（10%×5年＝50%）達成されたものとし、５年間の計画期間における進捗度として１００%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成25年度に電気技師1名を採用し、専門的な知識・経験を有する技術の継承を図ることができました。
また、中堅・若手職員が各種の技術実務研修を受講し、水道施設等の整備及び維持管理の適正化を推進するための専門的な知識を習得することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

水道技術の習得には実務や研修を通して長期間が必要であるが、定期的な人事異動により、習得した技術を次世代へ継承することができる指導者が少なくなっており、水道事業を運営監督できる職員の確保が困難な状況となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、中堅・若手職員に対して各種の技術実務研修への積極的な参加を促し、技術継承と人材育成を図ります。
また、人事担当部門に対して、技術職員の配置、長期の配属を要望することとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	経営係
担当者		木村　公一	直通	0771-25-6761	内線	3614

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	2	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	経営情報提供の充実事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水道事業の経営状況等について、市民や事業者の理解を深めるため、広報紙「かめおか水だより」や市ホームページ等を活用した情報提供の充実を図るとともに、浄水場等の施設見学者に対して経営全般に係る啓発活動を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載	（かめおか水だより発行経費） 101,719円
平成24年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供	・かめおか水だよりの発行 ・上下水道部通信の発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載	（かめおか水だより発行経費） 309,515円 （上下水道部通信発行経費）
平成25年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・施設見学者に対しての経営全般に係る啓発活動の実施	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・施設見学の受け入れ、実施	（かめおか水だより発行経費） 195,080円
平成26年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・施設見学者に対しての経営全般に係る啓発活動の実施	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・施設見学の受け入れ、実施	（かめおか水だより発行経費） 195,509円
平成27年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・施設見学者に対しての経営全般に係る啓発活動の実施	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・施設見学の受け入れ、実施	（かめおか水だより発行経費） 190,337円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

上水道事業の事業内容や経営状況等の情報提供を広報紙や市ホームページにおいて行うこととして、平成２７年度においても「かめおか水だより」の発行や、亀岡市上下水道事業経営審議会の審議概要等を市ホームページに掲載しており、５年間の計画期間における進捗度として１００％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

広報紙「かめおか水だより」の定期的な発行や亀岡市上下水道事業経営審議会の審議概要を市ホームページに掲載するなど、水道事業の経営状況等について情報提供するとともに、浄水場等の施設見学を実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

水道は、市民生活に欠かすことのできないインフラ、ライフラインとして重要な事業であることを、同じ内容の繰り返しになっても、切り口を変えるなど関心を持ってもらえるように継続して広報活動に取り組む必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き水道事業の経営健全化の取り組み状況などを、市民にわかりやすく情報提供できるように、広報紙やホームページを活用した情報発信を充実・強化していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	下水道課	係	施設整備係
担当者		吉村　尚己	直通	0771-25-6705	内線	3676

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公共下水道事業(管渠)									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市の公共下水道事業は、昭和４８年に『亀岡市公共下水道基本計画』を策定し、昭和５０年から汚水管渠工事に着手し、昭和５８年から一部供用開始を行っています。また、積極的に推進してきた結果、平成２７年度末で、普及率８２．７%になりました。引き続き、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図るため、年次計画的に整備や安心安全な施設管理を進めて行きます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・整備面積　２０ｈａ ・管路の維持管理	・整備面積　２０ｈａ	管路整備事業費 724,079,950円
平成24年度	・整備面積　２８ｈａ ・管路長寿命化対策概略検討	・整備面積　２３ｈａ	管路整備事業費 750,860,950円
平成25年度	・整備面積　１２ｈａ ・管路長寿命化対策検討	・整備面積　６ｈａ	管路整備事業費 395,928,950円
平成26年度	・整備面積　３ｈａ ・管路長寿命化対策検討	・整備面積　６ｈａ	管路整備事業費 124,283,120円
平成27年度	・整備面積　５ｈａ ・管路長寿命化対策検討	・整備面積　１０ｈａ	管路整備事業費 128,438,680円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・管路整備は平成27年度整備目標68haのうち65haを整備完了したので整備率は96%とします。
・維持管理及び管路長寿命化検討は平成27年度まで達成しているので100%とし、平成27年度の進捗度は２つの平均である98%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

計画的に事業を実施し、積極的に事業推進したことにより、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図ってきました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

他事業の遅れ等における事業時期の延期、私道等における下水道施設の埋設不同意による未整備地区の解消が課題であります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

他事業の進捗状況に合わせ、下水道整備を図ります。また、埋設不同意箇所については、同意が得られた時点での整備を図ります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	下水道課	係	年谷浄化センター
担当者		髙木　宏典	直通	0771-24-4443	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域下水道事業（維持管理）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域下水道整備計画に基づき、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善のため、効率的な施設整備及び維持管理を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守します。	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守しました。	(維持管理費) 115,582,195円
平成24年度	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守します。	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守しました。	(維持管理費) 131,075,318円
平成25年度	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守します。	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守しました。	(維持管理費) 180,366,306円
平成26年度	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守します。	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守しました。	(維持管理費) 173,391,753円
平成27年度	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守します。	・地域下水道各施設の適正な維持管理を行い、放流基準を順守しました。	(維持管理費) 152,170,721円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標年度を平成27年度として、進捗度を100％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

効率的な管渠整備及び処理施設の維持管理が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

管渠整備及び処理施設の維持管理にかかる整備計画の策定が必要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

整備計画に基づき、適正な維持管理に努めていく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	下水道課	係	―
担当者		川勝猛弘	直通	0771－25－6764	内線	3671

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公共下水道事業(犬飼川左岸雨水排水事業)									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公共下水道事業（雨水）認可区域内である犬飼川左岸排水区の雨水排水路整備を実施することにより、浸水解消対策を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	国営緊急農地再編整備事業との整合を図る基本計画協議	国営緊急農地再編整備事業担当課との会議 （排水路ルート、断面検討）	0円
平成24年度	国営緊急農地再編整備事業との整合を図る基本計画協議	国営緊急農地再編整備事業担当課との会議 （排水路ルート、断面検討）	0円
平成25年度	国営緊急農地再編整備事業との整合を図る基本計画協議	国営緊急農地再編整備事業担当課との会議 （排水路ルート、断面検討）	（亀岡市公共下水道に係る計画設計業務） 8,200,000円
平成26年度	国営緊急農地再編整備事業との整合を図る実施設計協議	国営緊急農地再編整備事業担当課との会議 （排水路ルート、断面検討）	0円
平成27年度	国営緊急農地再編整備事業との整合を図る工事着手協議	国営緊急農地再編整備事業担当課との会議 （排水路ルート、断面検討）	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区（桂川西工区）と公共下水道（雨水）犬飼川左岸排水区との排水路ルート、断面等について調整を行い、工事着手に向けての協議が進みました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区（桂川西工区）と公共下水道（雨水）犬飼川左岸排水区との排水路ルート、断面等について調整を行い、工事着手時期や施工方法について概ねの協議が整いました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区（桂川西工区）と公共下水道（雨水）犬飼川左岸排水区事業との工事着手時期や施工方法等について詳細な協議が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区（桂川西工区）と公共下水道（雨水）犬飼川左岸排水区事業との工事着手時期や施工方法等について詳細な協議を進めます。また、公共下水道（雨水）犬飼川左岸排水区事業を進めて行く上で、多額の事業費が必要となることから、整備手法などの十分な検討を行い関係機関と調整しながら進めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	下水道課	係	年谷浄化センター
担当者		福井　敏行	直通	0771-24-4443	内線	―

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	年谷浄化センター整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画に基づく放流水の目標水質を達成するため、高度処理施設の整備を行います。
また、長寿命化計画により、老朽化した施設の計画的な改築・更新を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・脱臭設備の改築工事 ・汚泥処理設備の改築工事	・脱臭設備の改築工事 ・汚泥処理設備の改築工事	(改築実施設計、汚泥処理設備改築工事) 166,000,000円
平成24年度	・高度処理に関する基本設計 ・汚泥処理設備及び電気設備の改築工事	・高度処理に関する基本設計 ・汚泥処理設備及び電気設備の改築工事	(高度処理実施設計、汚泥処理設備及び電気設備改築工事) 242,910,000円
平成25年度	・長寿命化に関する調査設計 ・電気設備及び建築・建築設備の改築工事	・長寿命化に関する調査設計 ・電気設備及び建築・建築設備の改築工事	(長寿命化に関する調査設計、電気設備及び建築・建築設備の改築工事) 708,660,000円
平成26年度	・長寿命化に関する計画設計 ・高度処理に関する実施設計 ・耐震補強に関する実施設計 ・電気設備及び建築・建築設備の改築工事	・長寿命化に関する計画設計 ・高度処理に関する実施設計 ・耐震補強に関する実施設計 ・電気設備及び建築・建築設備の改築工事	(長寿命化に関する計画設計、高度処理・耐震補強に関する実施設計、電気設備及び建築・建築設備の改築工事)　369,460,000円
平成27年度	・水処理(高度処理)施設工事 ・水処理(耐震補強)施設工事 ・水処理(長寿命化)施設工事	・水処理(高度処理)施設工事 ・水処理(耐震補強)施設工事 ・水処理(長寿命化)施設工事	(高度処理・耐震補強及び長寿命化に関する改築工事) 231,182,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27 年度までに実施すべき取組のうち、平成27 年度までにすべての取組を完了したことから、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

年谷浄化センターでは、前期基本計画期間中、脱臭設備・汚泥処理設備・電気設備・建築設備等の改築のほか、平成２７年度からは長寿命化計画に基づき水処理設備等の改築を実施しました。
大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画に基づき、放流水質を向上させ、公共用水域の水質保全を図ることを目的に平成２７年度から年谷浄化センターの高度処理の整備事業に着手しました。
また、高度処理・長寿命化と共に耐震補強も行い、安全・安心な施設の整備事業を進めました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

現在稼働中の施設の一部の使用を停止して高度処理・長寿命化・耐震補強工事を実施するため、工事期間中は使用できない系列（水槽）が発生し、処理能力が減少するため運転管理が非常に難しくなります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、高度処理施設の整備に向け、計画的な工事を実施します。
また、長寿命化計画に基づく施設の計画的な改築・更新と耐震補強を併せて実施します。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	上下水道部	課	下水道課	係	普及係
担当者		森敏郎	直通	0771-25-6706	内線	3673

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	47
②事業名	下水道水洗化促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公共下水道及び地域下水道整備区域内の水洗化を促進することにより、区域内の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	下水道水洗化率(78.2%)	公共水洗化率（89.8%） 地域水洗化率（64.5%） 下水道水洗化率(79.7%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 989,324円
平成24年度	下水道水洗化率(79.8%)	公共水洗化率（91.5%） 地域水洗化率（72.2%） 下水道水洗化率(83.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 611,004円
平成25年度	下水道水洗化率(81.2%)	公共水洗化率（92.6%） 地域水洗化率（76.3%） 下水道水洗化率(84.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 685,761円
平成26年度	下水道水洗化率(82.5%)	公共水洗化率（93.1%） 地域水洗化率（77.5%） 下水道水洗化率(85.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 605,350円
平成27年度	下水道水洗化率(83.8%)	公共水洗化率（93.7%） 地域水洗化率（79.8%） 下水道水洗化率(86.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 550,416円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度に下水道水洗化率を83.8%とする目標に対し、平成27年実績は86.6%で目標達成のため100%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

未水洗家屋の所有者に対しては、ハガキによる促進や戸別訪問を実施し、下水道フェスティバルや広報誌等で水洗化の啓蒙、啓発を行い、目標値を達成した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

検討が必要。
戸別訪問時に未水洗理由の聞き取り調査を行っているので、調査結果を基に今後の水洗化促進の方向性の検討を行う。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

公共下水道及び地域下水道ともに水洗化率を上げるため、水洗化促進事業を今後も進めていき、公共下水道及び地域下水道区域内の水洗化を促進することにより、区域内の生活環境の改善、公共用水域の水質の保全を図るとともに、下水道料金の収入増加による下水道事業会計の健全経営に努めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	経営係
担当者		木村　公一	直通	0771-25-6761	内線	3614

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	下水道事業の経営状況の改善事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

下水道事業の経営状況を的確に把握し、健全財政の確立に向けて経営診断項目について継続的に点検・評価を行うため、附属機関である「亀岡市上下水道事業経営審議会」を定期的に開催し第三者の意見を聞くとともに、上下水道部に経営会議を設置するなど、経営の健全化を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の開催による経営状況の点検・評価 ・下水道使用料1,470,497千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・下水道使用料1,453,951千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬については、上水道事業会計にて対応）
平成24年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の設置 ・下水道使用料1,447,938千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の設置・開催 ・下水道使用料1,406,119千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）155,200円
平成25年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・使用料改定の実施 ・下水道使用料1,526,540千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・使用料改定の実施 ・下水道使用料1,524,185千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）116,400円
平成26年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・中長期財政計画の見直し検討 ・下水道使用料1,523,273千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・中長期財政見通しの見直し実施 ・下水道使用料1,533,247千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）135,800円
平成27年度	・亀岡市上下水道事業経営審議会の定期開催による経営診断項目の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・下水道使用料1,554,919千円（税抜）	・亀岡市上下水道事業経営審議会による経営状況の点検・評価 ・上下水道部経営会議の開催 ・下水道使用料1,541,075千円	（亀岡市上下水道事業経営審議会委員報酬）87,300円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成23年度から平成27年度までの下水道使用料当初目標額合計7,523,167千円に対する平成23年度から平成27年度までの下水道使用料実績額合計7,458,577千円の割合として、99.1%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成25年度から第2段階の下水道使用料の改定を行い、収入を確保し経営の健全化を図りました。また、「亀岡市上下水道事業経営審議会」を定期的に開催し、学識経験者や需要家代表などの委員により、下水道事業の経営状況の継続的な点検・評価を実施するとともに、平成24年度からは上下水道部経営会議を設置し、事業進捗の管理及び経営状況の把握などに取り組み、経営の健全化を推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

経営の健全化に向けた取組を推進しているものの、社会経済情勢の変化が激しく、下水道使用料が目標額に対して伸び悩んでいます。今後も、人口減少社会の進行、また老朽化した下水道施設の改築更新や終末処理場の高度処理化などへの投資により、厳しい経営状況が続くと予測していますので、財政見通しを精査するなど、経営の健全化に継続して取り組み、経営基盤の安定を図る必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、「亀岡市上下水道事業経営審議会」及び上下水道部経営会議を引き続き定期的に開催するとともに、中長期の財政見通しによる計画的な経営基盤の安定を図ることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	お客様サービス課	係	料金係
担当者		三宅　邦子	直通	0771-25-6770	内線	3641

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	下水道使用料の収納確保									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

下水道事業の経営健全化に向けて口座振替制度などの周知や利用者に便利なコンビニ収納などの期限内納付の意識啓発を図ることにより、下水道使用料の収納確保を推進します。また、滞納者に対しては上水道の給水停止に付随して徴収を強化し、滞納額の増加を抑止していきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	下水道使用料収納率92.00%（3月末）	下水道使用料収納率90.40%	
平成24年度	下水道使用料収納率99.00%（5月末）	下水道使用料収納率98.76%	
平成25年度	下水道使用料収納率99.00%（5月末）	下水道使用料収納率98.72%	
平成26年度	下水道使用料収納率99.00%（5月末）	下水道使用料収納率99.13%	
平成27年度	下水道使用料収納率99.00%（5月末）	下水道使用料収納率98.53%	

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

5年間の収納率の目標数値合計に対する実績数値合計の割合により算定

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

水道料金徴収にあわせ給水停止や夜間徴収の実施、また、土日祝日の窓口業務のＰＲ等を行った結果、下水道使用料の収納率については目標に対し実績は99.50％となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

支払方法の利便性向上を図るため、コンビニ支払の導入や給水停止失効日には営業時間を延長する等の対応を行い収納率の向上を図っていますが、長引く景気の低迷の影響を受けており、下水道使用料の未収は固定化する傾向が見受けられ、収納率についても目標に届かず伸び悩んでいます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

期限内納付の意識啓発や口座振替推進のＰＲ活動を強化することで、更に充実させ収納確保を図っていきます。また、口座振替の利便性を向上させるため、ペイジーの口座振替受付サービスを採用します。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	経理係
担当者		人見真司	直通	25-6761	内線	3614

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	事務事業の効率化の推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

民間委託の推進による人員配置の見直しなど、事務事業の効率化に向けた多様な手法の検討の導入を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	(浄化センター維持管理業務委託料)　191,320,500
平成24年度	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	(浄化センター維持管理業務委託料)　191,320,500
平成25年度	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用、多様な民間委託の検討	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	(浄化センター維持管理業務委託料)　193,599,000
平成26年度	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用、多様な民間委託の検討	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	(浄化センター維持管理業務委託料)　217,857,600
平成27年度	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用、多様な民間委託の検討	年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬など積極的な委託の活用	(浄化センター維持管理業務委託料)　222,194,880

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

５年間の計画期間における実績（取組内容）により１００％としています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬などの業務を民間に委託することにより、民間の技術やノウハウを活用した効率的な業務推進ができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

事務事業のさらなる効率化の推進が図れるように、積極的な委託の活用に向けた業務の拡大を検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、年谷浄化センターの維持管理業務や緊急時対応、汚泥の処分・運搬などの業務委託を継続して推進するとともに、民間の多様な技術やノウハウを活用した新たな委託業務の検討・導入を図ります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	総務係
担当者		原田　啓子	直通	0771-25-6761	内線	3612

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	3	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	下水道技術職員の確保及び育成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

下水道事業経営において、特に年谷浄化センター設備に係る電気・計装機器の運転・メンテナンス等制御機能の確保を図ることは重要であり、円滑な技術継承のため、下水道技術職員の確保及び育成を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	下水道技術職員の育成	下水道技術職員養成講習会に参加	日本下水道協会下水道技術職員養成講習会参加費等　137,020円 【実績額】
平成24年度	下水道技術職員の育成	下水道技術職員養成講習会に参加	日本下水道協会下水道技術職員養成講習会参加費等　87,380円 【実績額】
平成25年度	下水道技術職員の育成	下水道技術職員養成講習会に参加	日本下水道協会下水道技術職員養成講習会参加費等　89,240円 【実績額】
平成26年度	下水道技術職員の育成	下水道技術職員養成講習会に参加	日本下水道協会下水道技術職員養成講習会参加費等　92,000円 【実績額】
平成27年度	下水道技術職員の育成	下水道技術職員養成講習会に参加	日本下水道協会下水道技術職員養成講習会参加費等 103,640円 【実績額】

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

下水道技術職員の育成においては技術職員養成研修会への参加等により毎年20%（20%×5年＝100%）達成されたものし、５年間の計画期間における進捗度として１００％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

中堅・若手職員が各種の技術実務研修を受講し、下水道施設等の整備及び維持管理の適正化を推進するための専門的な知識を習得することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

下水道技術の習得には実務や研修を通して長期間が必要であるが、定期的な人事異動により、習得した技術を次世代へ継承することができる指導者が少なくなっており、下水道事業を運営監督できる職員の確保が困難な状況となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、中堅・若手職員に対して各種の技術実務研修への積極的な参加を促し、技術継承と人材育成を図ります。
また、人事担当部門に対して、技術職員の配置、長期の配属を要望することとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	総務・経営課	係	経営係
担当者		木村　公一	直通	0771-25-6761	内線	3614

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	3	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	経営情報提供の充実事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

下水道事業の経営状況等について、市民や事業者の理解を深めるため、広報紙「かめおか水だより」や市ホームページ、下水道フェスティバルのイベント等を活用した情報提供の充実を図るとともに、年谷浄化センター等の施設見学者に対して経営全般に係る啓発活動を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供	（かめおか水だより発行経費） 101,718円
平成24年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供	・かめおか水だよりの発行 ・上下水道部通信の発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供	（かめおか水だより発行経費） 309,512円 （上下水道部通信発行経費） 30,000円
平成25年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供 ・施設見学者に対しての経営全般に係る啓発活動の実施	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供 ・施設見学の受け入れ、実施	（かめおか水だより発行経費） 195,079円
平成26年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供 ・施設見学者に対しての経営全般に係る啓発活動の実施	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供 ・施設見学の受け入れ、実施	（かめおか水だより発行経費） 195,509円
平成27年度	・広報紙及び市ホームページによる経営状況等の情報提供 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供 ・施設見学者に対しての経営全般に係る啓発活動の実施	・かめおか水だよりの発行 ・市ホームページでの経営審議会審議概要等の掲載 ・下水道フェスティバルにおいて経営状況の情報提供 ・施設見学の受け入れ、実施	（かめおか水だより発行経費） 190,337円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

下水道事業の事業内容や経営状況等の情報提供を広報紙や市ホームページにおいて行うこととして、平成２７年度においても「かめおか水だより」の発行や、亀岡市上下水道事業経営審議会の審議概要等を市ホームページに掲載しており、５年間の計画期間における進捗度として１００％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

広報紙「かめおか水だより」の定期的な発行や亀岡市上下水道事業経営審議会の審議概要を市ホームページに掲載するなど、下水道事業の経営状況等について情報提供するとともに、下水道フェスティバルのイベントでの啓発活動や年谷浄化センター等の施設見学を実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

下水道は、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図る重要な事業であることから、接続率の向上と水洗化の普及促進のため、同じ内容の繰り返しになっても、切り口を変えるなど関心を持ってもらえるように継続して広報活動に取り組む必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、下水道事業の経営健全化の取り組み状況などを、市民にわかりやすく情報提供できるように、広報紙やホームページを活用した情報発信、また下水道フェスティバルのイベント等を通じた啓発活動を充実・強化していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	都市計画課	係	開発指導係
担当者		谷　智行	直通	0771-25-5047	内線	3515

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	「開発許可制度マニュアル【亀岡市版】」等の公開									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

本市においては、計画的な秩序ある住みよいまちづくりの実現を目的に、市内における開発行為及び建築行為に対する一定の基準として「亀岡市宅地開発等に関する指導要綱」並びに「指導要綱技術基準」を設け開発指導を行っています。しかしながら、指導要綱については、最終改正が平成14年、技術基準については、平成2年という状況であり、昨今における社会情勢の変化への対応及び将来的な開発許可権限移譲を視野に入れる中で平成24年度に改正を実施します。また、改正した指導要綱等については、ホームページ及び市民情報コーナーにおいて広く市民に公開します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	「指導要綱」「技術基準」の改正及び公開	「指導要綱」「技術基準」の改正及び公開	－
平成25年度	ゆとりのある良好な市街地・住環境の形成に向け、改正した要綱に基づき指導を行います。	「指導要綱」「技術基準」に基づく指導を実施 ホームページによる情報提供の充実	－
平成26年度	ゆとりのある良好な市街地・住環境の形成に向け、改正した要綱に基づき指導を行います。	「指導要綱」「技術基準」に基づく指導を実施 ホームページによる情報提供の充実	－
平成27年度	ゆとりのある良好な市街地・住環境の形成に向け、改正した要綱に基づき指導を行います。	「指導要綱」「技術基準」に基づく指導を実施 ホームページによる情報提供の充実	－

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

主たる目標である「亀岡市宅地開発等に関する指導要綱」及び「指導要綱技術基準」の改正及び公開について達成していることから、１００％とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までに「亀岡市宅地開発等に関する指導要綱」及び「指導要綱技術基準」の改正及び公開について達成することができた。改正した指導要綱等はホームページ及び市民情報コーナーにおいて公表することにより市民等に周知している。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後もゆとりある良好な市街地・住環境の形成に向け、継続的に開発指導に関する啓発周知活動を実施していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、継続的にホームページ及び市民情報コーナーにおける周知の機会提供を行う。また、必要に応じて指導要綱の改正等を行い、開発に係る指導を推進していく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田　浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	安全なわが家の耐震化促進事業　　（住宅耐震化の啓発）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、平成20年3月に策定した「亀岡市建築物耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末までに耐震化率を現状（平成15年）の72.5%から90%までに引き上げる目標を掲げています。

耐震性能を有していない木造住宅の所有者が、高額な費用がかかると思われる耐震改修までなかなか踏み切れない状況を踏まえ、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金などを活用し、安全なわが家で暮らせるように積極的な広報活動を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:1回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:2回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回:全事業利用へDM送付	780,350
平成24年度	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:1回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:2回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回:全事業利用へDM送付	626,500
平成25年度	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:1回・啓発ﾁﾗｼ配布:2回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回	防災訓練ﾌﾞｰｽ展示・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:2回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回:全事業利用へDM送付	736,170
平成26年度	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:1回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:3回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回	770,000
平成27年度	出前ﾀｳﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ:1回・ｷﾗﾘ☆亀岡おしらせ:1回・啓発ﾁﾗｼの全戸配布:1回・前年事業利用者ｱﾝｹｰﾄ:1回	防災訓練ﾌﾞｰｽ展示・全事業利用者ｱﾝｹｰﾄ：1回	968,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→			平成27年度

（その根拠）

平成15年の住宅・土地統計調査による推計値では、市内住宅の耐震化率は72.5%となっており、平成27年度末までに90%に引き上げるためには、17.5%の向上が必要です。

京都府下の耐震化率の推移を考慮した結果、平成27年度では83.0%と見込まれるため、60%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・平成２３年度から平成２７年度までの５年間で、計１３１戸の住宅に対して耐震診断士の派遣を行い、計９４戸の住宅に耐震改修補助金を交付するなど、耐震化促進のための事業を着実に進めた。
・チラシ配布や出前授業などさまざまな手段による積極的な広報活動に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・京都府下の平成２７年度時点の耐震化率は推計で８３％であり、目標としていた９０％には達していない状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・前期に引き続き、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金により、耐震化率の向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行っていきたい。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田　浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	専門家による無料の耐震相談会事業　（耐震相談会の実施）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市建築物耐震改修促進計画に基づき、平成27年度末までに耐震化率を90%に引き上げる目標を達成するため、木造住宅耐震診断士派遣事業などの事業を積極的に推進しています。
現在までに175戸の住宅が診断を完了しており、172戸の住宅が「倒壊する可能性が高い」耐震評点0.7未満という診断結果になっていますが、木造住宅耐震改修補助金事業の利用は21戸と低いことから、耐震診断利用者が確実に耐震改修補助金の利用につながるように、専門家が直接ｱﾄﾞﾊﾞｲｽをする無料の耐震相談会を開催することで、耐震化率の向上を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	専門家による耐震相談会：8回・小学校への出前授業：1回	専門家による耐震相談会：7回、19組が参加・小学校への出前授業：1回・出前講座：1回	559,650
平成24年度	専門家による耐震相談会：9回・小学校への出前授業：1回	専門家による耐震相談会：7回、19組が参加・小学校への出前授業：1回・出前講座：1回	598,500
平成25年度	専門家による耐震相談会：9回・小学校への出前授業：1回	専門家による耐震相談会：9回、13組が参加	469,800
平成26年度	専門家による耐震相談会：9回・小学校への出前授業：1回	専門家による耐震相談会：1回2組が参加、小学校への出荷授業:2校	469,800
平成27年度	専門家による耐震相談会：9回・小学校への出前授業：1回	専門家による耐震相談会：3回・小学校への出前授業：3回	276,480

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成15年の住宅・土地統計調査による推計値では、市内住宅の耐震化率は72.5%となっており、平成27年度末までに90%に引き上げるためには、17.5%の向上が必要です。
京都府下の耐震化率の推移を考慮した結果、平成27年度では83.0%と見込まれるため、60%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・平成２３年度から平成２７年度までの５年間で、計１３１戸の住宅に対して耐震診断士の派遣を行い、計９４戸の住宅に耐震改修補助金を交付するなど、耐震化促進のための事業を着実に進めた。
・チラシ配布や出前授業などさまざまな手段による積極的な広報活動に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・京都府下の平成２７年度時点の耐震化率は推計で８３％であり、目標としていた９０％には達していない状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・前期に引き続き、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金により、耐震化率の向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行っていきたい。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田　浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	木造住宅耐震診断士派遣事業　（耐震診断の実施）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、平成20年3月に策定した「亀岡市建築物耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末までに耐震化率を現状（平成15年）の72.5%から90%までに引き上げる目標を掲げています。

耐震性能を有していない木造住宅の所有者が、高額な費用がかかると思われる耐震改修までなかなか踏み切れない状況を踏まえ、自己負担3千円で京都府木造住宅耐震診断士が住宅の耐震診断を実施し、その診断結果を踏まえ改修計画までを提案することで耐震化率の向上を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸	1,440,000
平成24年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸	1,440,000
平成25年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸	木造住宅耐震診断士派遣事業:21戸	1,008,000
平成26年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸	1,440,000
平成27年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸	1,000,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→			平成27年度

（その根拠）

平成15年の住宅・土地統計調査による推計値では、市内住宅の耐震化率は72.5%となっており、平成27年度末までに90%に引き上げるためには、17.5%の向上が必要です。

京都府下の耐震化率の推移を考慮した結果、平成27年度では83.0%と見込まれるため、60%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・平成２３年度から平成２７年度までの５年間で、計１３１戸の住宅に対して耐震診断士の派遣を行い、計９４戸の住宅に耐震改修補助金を交付するなど、耐震化促進のための事業を着実に進めた。
・チラシ配布や出前授業などさまざまな手段による積極的な広報活動に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・京都府下の平成２７年度時点の耐震化率は推計で８３％であり、目標としていた９０％には達していない状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・前期に引き続き、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金により、耐震化率の向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行っていきたい。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田　浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	48
②事業名	安全なわが家の耐震化促進事業　（木造住宅の耐震化工事の促進）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、平成20年3月に策定した「亀岡市建築物耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末までに耐震化率を現状（平成15年）の72.5%から90%までに引き上げる目標を掲げています。

耐震性能を有していない木造住宅の所有者が、高額な費用がかかると思われる耐震改修までなかなか踏み切れない状況を踏まえ、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金などにより、木造住宅の耐震化率向上に努め、安全・安心のまちづくりを推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸・木造住宅耐震改修補助金事業:5戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:6戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 8,180,000円
平成24年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修14戸、簡易改修5戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 16,765,000円
平成25年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:21戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修14戸、簡易改修9戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 17,188,870円
平成26年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修8戸、簡易改修12戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 12,227,000円
平成27年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修12戸、簡易改修14戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 16,758,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→			平成27年度

（その根拠）

平成15年の住宅・土地統計調査による推計値では、市内住宅の耐震化率は72.5%となっており、平成27年度末までに90%に引き上げるためには、17.5%の向上が必要です。

京都府下の耐震化率の推移を考慮した結果、平成27年度では83.0%と見込まれるため、60%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・平成２３年度から平成２７年度までの５年間で、計１３１戸の住宅に対して耐震診断士の派遣を行い、計９４戸の住宅に耐震改修補助金を交付するなど、耐震化促進のための事業を着実に進めた。
・チラシ配布や出前授業などさまざまな手段による積極的な広報活動に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・京都府下の平成２７年度時点の耐震化率は推計で８３％であり、目標としていた９０％には達していない状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・前期に引き続き、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金により、耐震化率の向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行っていきたい。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田　浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	木造住宅耐震改修費補助事業　（耐震改修費補助の実施）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、平成20年3月に策定した「亀岡市建築物耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末までに耐震化率を現状（平成15年）の72.5%から90%までに引き上げる目標を掲げています。

耐震性能を有していない木造住宅の所有者が、高額な費用がかかると思われる耐震改修までなかなか踏み切れない状況を踏まえ、耐震改修に要した経費の4分の3以内で最大90万円まで補助金を助成することで木造住宅の耐震化率向上に努め、安全・安心のまちづくりを推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	木造住宅耐震改修補助金事業:5戸	木造住宅耐震改修補助金事業:6戸	5,400,000
平成24年度	木造住宅耐震改修補助金事業:15戸	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修14戸、簡易改修5戸	16,260,000
平成25年度	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修14戸、簡易改修9戸	14,947,000
平成26年度	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修8戸、簡易改修12戸	10,800,000
平成27年度	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸	木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修12戸、簡易改修14戸	14,790,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→			平成27年度

（その根拠）

平成15年の住宅・土地統計調査による推計値では、市内住宅の耐震化率は72.5%となっており、平成27年度末までに90%に引き上げるためには、17.5%の向上が必要です。

京都府下の耐震化率の推移を考慮した結果、平成27年度では83.0%と見込まれるため、60%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・平成２３年度から平成２７年度までの５年間で、計１３１戸の住宅に対して耐震診断士の派遣を行い、計９４戸の住宅に耐震改修補助金を交付するなど、耐震化促進のための事業を着実に進めた。
・チラシ配布や出前授業などさまざまな手段による積極的な広報活動に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・京都府下の平成２７年度時点の耐震化率は推計で８３％であり、目標としていた９０％には達していない状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・前期に引き続き、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金により、耐震化率の向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行っていきたい。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	建築係
担当者		石脇　孝太	直通	25-5089	内線	3455

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	「亀岡市営住宅ストック総合活用計画」に基づく計画的建替えの推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

快適な生活を支えるまちづくりを推進するため、市営住宅の適正管理と維持修繕、計画的な建替え事業を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・既存市営住宅耐震診断	・既存市営住宅耐震診断８棟	4,935,000
平成24年度	・市営吉川住宅整備基本構想	・市営吉川住宅整備基本構想	2,782,500
平成25年度	・市営吉川住宅改修設計	・市営吉川住宅改修設計	10,127,500
平成26年度	・市営吉川住宅改修工事Ⅰ期	・市営吉川住宅改修工事Ⅰ期	151,200,000
平成27年度	・市営吉川住宅改修工事Ⅱ期 ・市営滝の花住宅建替実施設計	・市営吉川住宅改修工事Ⅱ期 ・市営滝の花住宅建替実施設計	42,190,200

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに実施予定の６つの事業全てを完了したことから、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

実施予定の6つの事業全てを完了し、目標に対して実績が100％となり、市営住宅の適正管理と維持修繕を実施することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

入居者と地元地域の協力なくしては事業の遂行は困難であることから、事前の調整を必要とします。
交付金対象事業であることから、配分額により進捗に大きな影響があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き「亀岡市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、計画的に事業を推進することとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田　浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	「市営住宅長寿命化計画」に基づく市営住宅の適正な維持管理									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

快適な生活を支えるまちづくりを推進するため、市営住宅の適正な維持管理を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市営前川原住宅水道検針器更新 ・市営町畑住宅水道検針器更新	・市営前川原住宅水道検針器更新 ・市営町畑住宅水道検針器更新	3,039,750
平成24年度	・市営千代川住宅下水接続 ・市営つつじヶ丘Ａ棟住宅水道検針器更新	・市営千代川住宅下水接続 ・市営つつじヶ丘Ａ棟住宅水道検針器更新	8,586,900
平成25年度	・市営大年住宅水道検針器更新	・市営大年住宅水道検針器更新（法定交換）	3,685,500
平成26年度	・市営清水住宅水道検針器更新	・市営滝の花住宅水道検針器更新	1,064,880
平成27年度	・市営清水住宅水道検針器更新	・市営清水住宅水道検針器更新	1,389,960

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに実施予定の７つの事業のうち、平成27年度までに7つの事業を完了したことから、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・「市営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的に事業を進めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・長寿命化を図り適正な管理に努めることが重要であるが、財源の確保が厳しい状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・今後も引き続き計画に基づき施設の維持管理に努めていく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		数井　智之	直通	25-5048	内線	3452

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	特定優良賃貸住宅制度									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・一定以上の所得があるため、市営住宅の入居基準には該当しない中堅勤労者を対象に、民間業者が国庫補助を受けて建設する特定優良賃貸住宅について、その建設を促進し、中堅勤労者への優良賃貸住宅の供給を支援する。
・すでに建設された特定優良賃貸住宅については、管理を行う民間業者の管理状況報告書の受理・審査を行い、適正な住宅管理を図る。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・中堅勤労者への優良賃貸住宅の供給を支援 ・特定優良賃貸住宅の管理を行う民間業者の管理状況報告書の受理・審査	民間資金による特定優良賃貸住宅の新規建設が行われず、既存住宅の管理状況報告書の受理・審査を行った	―
平成24年度	・中堅勤労者への優良賃貸住宅の供給を支援 ・特定優良賃貸住宅の管理を行う民間業者の管理状況報告書の受理・審査	民間資金による特定優良賃貸住宅の新規建設が行われず、既存住宅の管理状況報告書の受理・審査を行った	―
平成25年度	・中堅勤労者への優良賃貸住宅の供給を支援 ・特定優良賃貸住宅の管理を行う民間業者の管理状況報告書の受理・審査	民間資金による特定優良賃貸住宅の新規建設が行われず、既存住宅の管理状況報告書の受理・審査を行った	―
平成26年度	・中堅勤労者への優良賃貸住宅の供給を支援 ・特定優良賃貸住宅の管理を行う民間業者の管理状況報告書の受理・審査	民間資金による特定優良賃貸住宅の新規建設が行われず、既存住宅の管理状況報告書の受理・審査を行った	―
平成27年度	・中堅勤労者への優良賃貸住宅の供給を支援 ・特定優良賃貸住宅の管理を行う民間業者の管理状況報告書の受理・審査	民間資金による特定優良賃貸住宅の新規建設が行われず、既存住宅の管理状況報告書の受理・審査を行った	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

京都府においては、平成２０年度以降、同制度の建設実績がなく、亀岡市においても平成１０年度の建設以降は建設実績がなく、今後も建設予定がないため、当面、住宅の管理状況報告書の受理・審査を行うのみである。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・前期基本計画期間内に新規建設された特定優良賃貸住宅はなく、既存住宅の管理状況報告書の受理と審査を行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・特になし

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・引き続き管理状況の把握に努める。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境政策課	係	施設整備係
担当者		中村信幸	直通	25-5015	内線	2515

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	7	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	火葬場施設耐火材等修繕									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

現火葬場は、平成１２・１３年度に施設及び火葬炉設備の全面改修を行い、十数年が経過する中、火葬炉各炉の使用件数は２，０００件を超える状況である。
火葬炉各炉の耐火材の全面積替えと火葬炉設備の修繕を計画的に行い、火葬炉等の性能維持を図り、火葬業務の停滞回避に努める。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・火葬炉内耐火材全面積替（１炉） ・主燃炉耐火材側壁修繕（２炉） ・各炉内台車耐火材修繕	・火葬炉内耐火材全面積替（１炉） ・排気ファン耐熱蛇腹修繕（２系列） ・炉内台車耐火材修繕（３炉） ・燃焼設備機器整備修繕（２系列）	市　13,965,000
平成24年度	・火葬炉内耐火材全面積替（１炉） ・主燃炉耐火材側壁修繕（２炉） ・各炉内台車耐火材修繕	・火葬炉内耐火材全面積替（１炉） ・排煙吸込口耐火材修繕（２系列） ・炉内台車耐火材修繕（３炉）	市　11,025,000
平成25年度	・火葬炉内耐火材全面積替（１炉） ・主燃炉耐火材側壁修繕（２炉） ・各炉内台車耐火材修繕	・火葬炉内耐火材全面積替（１炉） ・金物設備耐火材修繕（１系列） ・炉内台車耐火材修繕（２炉） ・炉内台車本体更新（１炉） ・火葬炉設備煙道ダクト修繕	市　11,248,650
平成26年度	・火葬炉設備電気制御機器更新業務（３系列） ・主燃炉側壁修繕（２炉） ・主燃炉耐火材修繕（１炉） ・各炉内台車耐火材修繕	・火葬炉設備電気制御機器更新（３系列） ・火葬炉設備耐火材修繕（２、３号炉） ・火葬場受変電設備等取替修繕 ・火葬場場内監視モニター修繕 ・棺運搬台車用蓄電池の取替修繕 ・収骨台運搬車蓄電池取替修繕	市　24,135,084
平成27年度	・主燃焼炉耐火修繕（側壁耐火材２、３号炉） ・集塵機設備固定修繕（１、２系列） ・設備機器修繕、主燃温度、再燃温度、炉圧タンパ用コントロールモーター（１、２、３号炉） ・炉内台車耐、火材修繕及びブロック更新（１、２、３号炉） ・冷却ファンオーバーホール（１、２、３号炉） ・排気ファンオーバーホール（１炉１系列、２炉１系列）	・主燃焼炉耐火材修繕（２、３号炉） ・炉内台車耐火材修繕（１，２，３号炉） ・集塵機設備固定修繕（１，２系列） ・冷却ファンオーバーホール（１、２、３号炉） ・排気ファンオーバーホール（１、２系列） ・炉圧ダンパー修繕（１、２、３号炉） ・冷却空気・冷却前室ﾀﾞﾝﾊﾟｰｺﾝﾄﾛｰﾙﾓｰﾀｰ修繕 ・残灰集塵機ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ ・ｵｲﾙｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞｾｯﾄ更新	市　12,623,256

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

火葬炉内耐火材の全面積替等を実施　（平成２３年度～２５年度　６０％）
火葬炉設備電気制御機器更新業務等を実施（平成２６年度　３０％）
主燃焼炉耐火材等修繕　（平成２７年度　１０％）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成２３～２５年度で火葬炉耐火材全面張替を実施、また、平成２６・２７年度には火葬炉設備電気制御機器の更新及び経年劣化箇所等の修繕の実施により、火葬業務の停滞管理に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

火葬場については、１月１日を除く３５４日稼働しており、稼働停止に陥らない対策が必要である。このため、日々の保守点検及び計画的な修繕に係る予算執行が課題となっている。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成１２・１３年度の大規模改修から１５年が経過し、各施設の経年劣化が年々進む中、新火葬場の建設時期と整合を図りながら、今後も保守点検及び計画的な修繕により適切な維持管理を実施していく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境政策課	係	施設整備係
担当者		中村信幸	直通	25 - 5015	内線	2515

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	7	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	49
②事業名	新火葬場整備に関する調査									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新火葬場整備構想の策定に向け、広く市民の意見を聞き、市民意見の交換により市民理解を得た整備構想とするため、平成27年度に亀岡市新火葬場整備検討審議会を開催し、新火葬場構想を策定する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・他市町村火葬場の建設経過、施設規模、運営形態等調査	・平成２３年６月に運用開始された泉大津市営火葬場「ゆうしお」で火葬場設備設計プロポーザル技術提案方式、施設規模、運営形態等を調査。	市　3,780
平成24年度	・他市町村火葬場の建設経過、施設規模、運営形態等調査	・前年度の調査結果の内容を踏まえて、今後の調査内容について研究した結果、ソフト面では移転を伴う火葬場建設に際しての市民意向の把握方法と新火葬場制定構想会議の設置、ハード面では火葬場の経営方法の課題について抽出した。	0
平成25年度	・他市町村火葬場の建設経過、施設規模、運営形態等（PFI導入）調査	・8月7日、守山野洲行政事務組合「野洲川斎苑」で一部行政事務組合等を調査。 ・10月30日、京丹後市火葬場で火葬場基本構想・基本計画・委員会の構成メンバー等を調査。 ・1月29日、一宮市「一宮斎場」でＰＦＩ方式による火葬場建設・運営等を調査。	市　35,920
平成26年度	・新火葬場基本方針調査業務委託 ・他市先進地視察 ・(仮称)環境施設等整備検討審議会条例の制定 ・庁内検討会議	・新火葬場整備基本方針検討業務 ・亀岡市新火葬場整備検討審議会条例の制定 ・庁内会議の開催	市　5,218,270
平成27年度	・亀岡市新火葬場整備検討審議会の開催 ・新火葬場整備構想の策定 ・庁内検討会議	・先進地視察の実施	市　16,885

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

他市町村火葬場調査、新火葬場基本方針調査検討業務　（平成２３年度～２６年度　６０％）
亀岡市新火葬場整備検討審議会条例の施行　（平成２７年度　５％）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

新火葬場の整備構想を策定するため、平成２７年４月１日付で亀岡市新火葬場整備検討審議会条例を制定及び施行した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡市新火葬場整備検討審議会を設置するため、委員の選任及び各種団体等への推薦依頼を行ったが、平成２７年度内の設置には至らなかった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

早期に審議会を設置し、市民の意見を聴きながら整備構想を策定し、市民の終焉の場となる新火葬場の建設事業を展開する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	市長公室	課	秘書広報課	係	広報広聴係
担当者		小林　秀範	直通	0771-25-5003	内線	2915

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	広報事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

さらに多くの市民へ広報紙（キラリ☆亀岡、キラリ☆亀岡おしらせ）を配布、閲覧できる体制づくりに向け、保管方法の充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	キラリ亀岡 5,411,296 おしらせ 6,941,257
平成24年度	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	キラリ亀岡 5,387,275 おしらせ 7,144,161
平成25年度	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	キラリ亀岡 5,118,601 おしらせ 7,406,085
平成26年度	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載	キラリ亀岡 5,312,282 おしらせ 7,669,623
平成27年度	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載 閲覧アプリ「ｉ広報紙」の導入	広報紙設置場所の充実 （補完個所数35） ホームページへの掲載 閲覧アプリ「i広報紙」の運用	キラリ亀岡 5,047,038 おしらせ 7,457,351

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

進捗状況は、各年度の目標件数合計と毎年度の累計の割合で求めています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

広報紙を市内公共施設、公共的団体への郵送のほか、大型店舗、ＪＲ駅等の協力を得て配架することにより、広報紙が配布されない世帯（自治会未加入世帯）への配布補完を行うこととしました。また、新たな補完方法としてスマートフォン等の閲覧アプリ「ｉ広報紙」を導入し（運営、利用ともに無料）、若年層への閲覧機会の向上を図っています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

配達箇所の増設には限界があり、多様化する市民ニーズのすべてに応えることは困難であるものと考えられます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

広報紙については、「キラリ☆亀岡」（カラー版、毎月１回発行）が新聞折込配付、「キラリ☆亀岡おしらせ」（毎月２回発行）が自治会配布を行っています。しかしながら、近年の新聞購読率の低下、自治会加入率の低下等の要因による市広報紙購読機会の減少が懸念されます。従前からの補完措置に加え、今後も広報媒体の多様化に伴う新たな情報提供手段の可能性を検討し、ホームページの掲載の継続やＳＮＳの積極的な活用により、市民が広報紙を目にする機会を増やし、市政への理解と認識を深めていきたいと考えます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	市長公室	課	秘書広報課	係	広報広聴係
担当者		小林　秀範	直通	0771-25-5003	内線	2915

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	広報事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

従来の紙ベースの広報だけでなく、市ホームページ等を積極的に活用し、誰もがいつでも、簡単に情報を得て、活用できるよう情報手段の充実を図る。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ホームページアクセス件数（570,000件）	ホームページアクセス件数（558,000件）	1,219,281
平成24年度	・ホームページアクセス件数（480,000件） ・市民課窓口に設置したモニターからの市政情報発信	・ホームページアクセス件数（476,000件） ・市民課窓口に設置したモニターからの市政情報発信	1,965,600
平成25年度	・ホームページアクセス件数（482,000件） ・フェイスブックを活用した市政情報の発信	・ホームページアクセス件数（468,376件） ・市民課窓口に設置したモニターから の市政情報発信 ・フェイスブックを活用した市政情報	1,965,600
平成26年度	・ホームページアクセス件数（483,000件） ・市民課窓口に設置したモニターから の市政情報発信 ・フェイスブックを活用した市政情報	・ホームページアクセス件数（506,828件） ・市民課窓口に設置したモニターから の市政情報発信 ・フェイスブックを活用した市政情報	1,965,600
平成27年度	・ホームページアクセス件数（485,000件） ・市民課窓口に設置したモニターから の市政情報発信 ・フェイスブックを活用した市政情報	・ホームページアクセス件数（433,267件） ・市民課窓口に設置したモニターから の市政情報発信 ・フェイスブックを活用した市政情報	1,965,600

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

H23～H27年度目標件数合計と毎年度の累計の割合で求めています。（97.6%）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成23年度11月にホームページをリニューアルし、より誰もが情報を得やすく、使いやすいものとするために情報更新度を高めるよう努めました。また、平成25年度にＳＮＳ（フェイスブック）を導入し、よりきめ細やかな情報発信ができる体制を構築しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

ＩＴに関する技術革新はめざましく、常に研究を重ね、新たな可能性を検討する必要があります。
アクセス件数は、選挙や関心の高い話題等により変動するため、増減を見込むことは困難でありますが、機械的な情報の更新だけでなく、戦略的な広報展開のツールとしてホームページやＳＮＳを活用していくことが今後、必要になると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年11月にホームページをリニューアルし、情報提供環境を整備します。同時に、ＳＮＳを活用した相乗効果により、市政情報発信力の強化を図ります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	市民課	係	市民相談係
担当者		安川厚子	直通	２５－５００５	内線	2552

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	市民相談事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

複雑・多様化する社会経済情勢や人間関係が希薄となりつつある今日の状況の中で、市民の日常生活において様々な問題が数多く発生しています。弁護士等の各分野の専門家による的確な回答や助言を得ることにより、こうした諸問題を未然に防止したり、その被害を最小限に食い止めることができます。市民の安全・安心を確保し、市民生活を擁護するため、市民にとって身近で信頼のおける相談窓口として、常設の市民相談に加え、弁護士による法律相談や総務省行政相談委員による行政相談等の特設相談を開設しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	法律相談…年４８回開催 行政相談…年１２回開催 常設相談…閉庁日を除く毎日	法律相談…年４８回開催(相談件数３７７件) 行政相談…年１２回開催(相談件数６７件) 常設相談…２７０件	法律相談業務委託等 ２，１７４，３６８円
平成24年度	法律相談…年４８回開催 行政相談…年１２回開催 常設相談…閉庁日を除く毎日	法律相談…年４８回開催(相談件数３７７件) 行政相談…年１２回開催(相談件数４９件) 常設相談…２４１件	法律相談業務委託等 ２，１７１，９０８円
平成25年度	法律相談…年４８回開催 行政相談…年１２回開催 常設相談…閉庁日を除く毎日	法律相談…年４８回開催(相談件数３４９件) 行政相談…年１２回開催(相談件数５５件) 常設相談…２５７件	法律相談業務委託等 ２，１７１，９０８円
平成26年度	法律相談…年４８回開催 行政相談…年１２回開催 常設相談…閉庁日を除く毎日	法律相談…年４８回開催(相談件数３３３件) 行政相談…年１２回開催(相談件数６９件) 常設相談…１８７件	法律相談業務委託等 ２，２３１，１９６円
平成27年度	法律相談…年４８回開催 行政相談…年１２回開催 常設相談…閉庁日を除く毎日	法律相談…年４８回開催(相談件数３０６件) 行政相談…年１２回開催(相談件数８５件) 常設相談…１０３件	法律相談業務委託等 ２，２３２，５０１円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

市民の安全・安心を確保し、市民生活を擁護するために、各種相談を開催していく事業であるため、年度ごとに目標回数実施した場合には、計画期間中（平成２３年度～２７年度)に1年が経過するごとに２０％とし、進捗度１００％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市民の安全・安心を確保し、市民生活を擁護するために、各種相談を開催していく事業である。
市民に寄り添い、様々な生活の中で、身近なことや法律にかかわる内容などの相談をうけ、適切な担当課や弁護士による法律相談、司法書士相談などにつなげて、市民が安全・安心な生活を送れるよう対応した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

多様化する市民ニーズに素早く、また的確に対応できるよう情報の収集・共有化を図る。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

弁護士や司法書士などの専門分野による法律相談を継続し、より一層市民生活の安全・安心を図る。
また、速やかな情報発信により日常生活による様々な問題を未然に防ぎ、事前に防止する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	市長公室	課	秘書広報課	係	広報広聴係
担当者		小林　秀範	直通	0771-25-5003	内線	2915

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	広聴事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

行政への信頼性の確保と協働のまちづくりの推進に向け、広聴事業で得た意見、提言への迅速・的確な回答と施策への反映を推進します。
「市長への手紙」・・・紙ベース及び市ホームページから誰もが市長に対して質問や要望することができ、市長が直接返事をする制度

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	手紙への再質問無しの割合 80%	手紙への再質問無しの割合 95%	244,358
平成24年度	手紙への再質問無しの割合 95%	手紙への再質問無しの割合 96%	164,030
平成25年度	手紙への再質問無しの割合 95%	手紙への再質問無しの割合 100%	144,006
平成26年度	手紙への再質問無しの割合 95%	手紙への再質問無しの割合 85%	152,423
平成27年度	手紙への再質問無しの割合 95%	手紙への再質問無しの割合 95%	190,566

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

「市長への手紙の回答に対する再質問が無かった割合」の５年間計画総計を分母とし、平成２３年度以降の実績を分子として進捗率を求めました。（102%）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市民が意見を述べやすく、かつ市長に声を届け、直接返事をする「市長への手紙」制度により、市民意見を迅速に施策に反映することのできる体制が維持されているものと考えます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

意見、提言の内容によっては、主管課での調整等により返答に時間がかかることがあります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

現状を維持するとともに、意見・提言の施策への迅速・的確な反映に努めることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	総務課	係	情報化推進係
担当者		鈴木　長	直通	0771-25-5007	内線	2318

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	「地域情報化推進計画」の策定									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高度な情報通信技術を有効活用し、市民の利便性の向上、事務の効率化・高度化及び行政の透明性の向上を図るため、情報化の推進体制を整備し、「計画的な情報化の推進」、「情報システムの最適化」、「情報セキュリティの確保」を図る。
本市における情報政策の基本理念等を定め、情報化を推進していくための体制や、仕組み作りを盛り込んだ情報化推進計画を策定する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	情報化推進体制の整備検討及び関連規程の検討	「亀岡市情報化の推進に関する規程」の策定作業 （情報化推進体制の整備等）	0円
平成25年度	「亀岡市情報化の推進に関する規程」施行（平成25年4月1日）、関連規程の制定（「亀岡市情報セキュリティ対策基準規程」の策定）	「亀岡市情報化の推進に関する規程」施行(平成25年4月1日) 「亀岡市情報セキュリティ対策基準規程」(案)の策定作業	0円
平成26年度	「亀岡市情報化推進計画」策定検討委員会の設置等、関連規程の制定（「亀岡市情報システム最適化指針」の策定）	「亀岡市情報セキュリティ対策基準規程」の策定作業 （情報セキュリティ対策関連規程の刷新）	0円
平成27年度	「亀岡市情報化推進計画」の策定	「亀岡市情報セキュリティ対策基準規程」施行(平成27年4月1日) 「亀岡市情報化推進計画」公表(平成28年3月)	5,400,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

当初目標に掲げる情報化推進体制及び関連規程を整備し、「亀岡市情報化推進計画」を平成28年3月に公表しています。本市の住記・税系及び福祉系システムの一部については、国が導入の促進を進めている「自治体クラウド」に刷新し、平成27年9月から本格的な運用を開始しており、コスト削減及び業務の共通化・標準化等の「情報システムの最適化」を積極的に進めてきています。また、「情報化推進計画」においても、「情報システム最適化指針の策定」等の具体的な取り組みを実施していく計画としています。ついては、目標年度までの実績が達成できていることから100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初目標に掲げる「亀岡市情報化の推進に関する規程(平成25年4月1日施行)」及び「亀岡市情報セキュリティ対策基準規程(平成27年4月1日施行)」を策定し、平成28年3月に「亀岡市情報化推進計画」を公表することができました。「情報システムの最適化」に関する取り組みに関しても、国の「電子自治体の取組みを加速するための10の指針(平成26年3月策定)」において、最優先課題と位置付けられた自治体クラウドの導入について、本市の住記・税系及び福祉系システムの一部を自治体クラウドに刷新し、平成27年9月から本格的な運用を開始しており、コスト削減及び業務の共通化・標準化等の「情報システムの最適化」を積極的に進めてきています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「亀岡市情報化推進計画」の策定にあたり実施した「情報化推進に関する市民アンケート」を踏まえ、要望が多くあった「情報セキュリティ対策の強化」や行動計画（アクションプラン）に掲げる情報化を推進する具体的な施策を着実に実行していくため、ICTを利活用できる人材を育成していく必要があります。また、「亀岡市情報化推進計画」の計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間としており、計画が形骸化しないようにするため、情報化を推進する具体的な施策の進行状況を的確に把握・評価する進行管理の仕組みを確立する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度からスタートする「亀岡市情報化推進計画」については、「第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～」が目指す都市像を実現するため、情報化の側面から支援する計画として、「高度なICTの有効活用により、誰もが安心して利便性と効率化を享受できる情報化の推進を図る」ことを基本理念に掲げ、三つの基本方針に基づき情報化を推進する具体的な施策に取り組んでいくこととします。

【基本方針】

○ ICTの利活用による市民サービスの向上
○ ICTの利活用による効率的かつ最適な行政運営
○ ICTの利活用による安全・安心でくらしやすいまちづくり

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	亀岡市教育研究所	係	
担当者		藤木	直通	0771-26-3916	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	教職員に対する情報教育講座									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

情報機器がますます高機能・高速化する時代背景の中、教職員の情報教育と情報モラル教育の必要性が求められ、時代に即したスキル向上を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ITスキルの向上	小中学校の教師を対象に情報教育講座を３回実施	―
平成24年度	ITスキルの向上	未実施	―
平成25年度	ITスキルの向上	小中学校の教師を対象に情報教育講座を１回実施	―
平成26年度	ITスキルの向上	小中学校の教師を対象に情報教育講座を２回実施	―
平成27年度	ITスキルの向上	小中学校の教師を対象に情報教育講座を１回実施	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

小中学校に配備されているＩＣＴ機器を効果的に利用した授業改善について研修することができました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市内小中学校から、情報教育の担当者３０人～４０人の参加があり、小中学校に配備されているＩＣＴ機器を効果的に利用した授業改善について研修することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

特になし

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、今後は時代の変遷に伴い課題が大きくなっているＳＮＳ等にかかわる情報モラル教育を中心とした研修を進めていきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	総務課	係	情報化推進係
担当者		鈴木　長	直通	0771-25-5007	内線	2318

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	情報通信技術に係る職員研修の実施									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

セキュリティの確保や個人情報の漏えいを防止するため、個人情報保護やセキュリティ意識のより一層の向上に向けて職員研修の充実を図る。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・情報セキュリティ研修（全職員対象）	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・主任級を対象とした情報セキュリティ研修	0円
平成24年度	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・情報セキュリティ研修（全職員対象）	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・主査級を対象とした情報セキュリティ研修	0円
平成25年度	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・情報セキュリティ研修（全職員対象）	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・主事級を対象とした情報セキュリティ研修	0円
平成26年度	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・情報セキュリティ研修（全職員対象）	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・eラーニングによる情報セキュリティ研修、個人番号制度研修	0円
平成27年度	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・情報セキュリティ研修（全職員対象）	・新規採用職員を対象としたパソコン操作、セキュリティ研修 ・eラーニングによる情報セキュリティ研修	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成23年度から平成27年度までの5年間を100%として、計画的に進捗しているので、平成27年度は100%の達成率とします。「亀岡市情報化推進計画」の策定にあたり平成27年9月に実施した「情報化推進に関する市民アンケート」では、情報化を推進するうえで「個人情報保護など情報セキュリティ対策を強化する」意見が多くあることから、次年度以降についても個人情報保護やセキュリティ意識のより一層の向上に向けて取組みます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

個人情報の保護や情報セキュリティに関する職員意識を向上するため、職員階層別に効果的な研修を実施しました。実施手法についても、集合研修だけでなく、受講者の都合に合わせて学習できるeラーニング研修も実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

インターネットの普及と様々な技術革新により、ICTは急速な発展を続けており、ここ数年、クラウドコンピューティング技術に基づくサービスの拡大、ソーシャルメディアやスマートフォンの普及等により、市民生活の多くの場面でICTを活用し、その利便性を享受できるようになってきています。また、行政事務においても、市民サービスの向上や事務の効率化などの有効的なツールとして、これまでからもICTを活用していますが、急速に進歩する技術に対して、全職員がICTに関する基礎的かつ広範囲な知識を習得し、ICT活用能力を向上する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

亀岡市情報化推進計画に基づき、各種集合研修やeラーニングの活用等により、職員の情報リテラシーの向上を進め、積極的に情報化を業務改善へ活用できる職員の育成に取組み、さらにICTを利活用したBPRを実行できる職員を目指します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	総務課	係	情報化推進係
担当者		鈴木　長	直通	0771-25-5007	内線	2318

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域情報通信システムの研究									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

最新の技術やサービスに関して情報収集し、最小の経費で最大の効果が得られ、市民サービスの充実が図れるような、情報通信システムを研究する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	情報通信システムの研究	・移動体通信事業者(Softbank,AU,Docomo)による市庁舎へのWi-Fiスポット設置について研究。	0円
平成25年度	情報通信システムの研究	・市庁舎へのWi-Fiスポット設置について引き続き検討を行ったが、事業者の事業撤退により設置には至らなかった。	0円
平成26年度	情報通信システムの研究	・携帯電話事業者(NTTﾄﾞｺﾓ,ｿﾌﾄﾊﾞﾝｸﾓﾊﾞｲﾙ)により、市庁舎1階ﾌﾛｱへのWi-Fiｽﾎﾟｯﾄの設置を実施。(運用経費は電気代のみ)	70,960円
平成27年度	情報通信システムの研究	・携帯電話事業者(NTTﾄﾞｺﾓ,ｿﾌﾄﾊﾞﾝｸﾓﾊﾞｲﾙ)による市庁舎1階ﾌﾛｱへのWi-Fiｽﾎﾟｯﾄに関する運用管理。 ・最新のICTの活用動向調査。	9,600円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成24年度から平成27年度までの4年間を100%として、計画的に進捗しているので、平成27年度は100%の達成率とします。また、インターネットの普及と様々な技術革新により、ICTは急速な発展を続けており、これらの高度なICTを有効活用し、市民や来訪者の利便性を向上させ、効率的・効果的な行政運営を図るため、国や先進自治体等における最新のICTの活用動向等について、継続的に調査・研究を行っていきます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

これまでから、来庁者がインターネットに接続できる専用端末を市民情報コーナーに設置していましたが、台数に限りがあることから来庁者の利便性向上のため、スマートフォンやタブレット端末等から気軽にインターネットが利用できるようにWI-FIスポットを庁舎1階に設置しました。設置について「民間活用型」「独自整備型」どちらの手法を採用するか等の調査・研究を実施し、携帯電話事業者自らがWI-FIネットワークを構築するとともに初期導入経費等を負担するため、安価で早期に導入が可能となる「民間活用型」によるWI-FIスポットを設置しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

インターネットの普及と様々な技術革新により、ICTは急速な発展を続けており、ここ数年、クラウドコンピューティング技術に基づくサービスの拡大、ソーシャルメディアやスマートフォンの普及等により、市民生活の多くの場面でICTを活用し、その利便性を享受できるようになってきています。このようなことから、高度なICTの有効活用により、市民や来訪者の誰もが安心して情報やサービスを利用できるまちづくりを進めるとともに、行政事務の効率化による市民サービスの向上を推進することが求められています。そのため、国や先進自治体等における最新のICTの活用動向等について、継続的に調査・研究を行う必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、国や先進自治体等における最新のICTの活用動向として、「自治体クラウドの推進」「社会保障・税番号制度への対応」「オープンデータへの取組み」等に関して、継続して調査・研究を行うこととします。